

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
	調査	関する調査。					
3	マタラニ港拡張計画調査	マタラニ港改良、新港建設、附帯道路鉄道建設、荷役機械等計画のための調査。	36	投	36. 7. ~36. 8	5	4,914
4	電気通信網開発計画調査	ペルーは電信は国営、電話は3つの私企業により運営されているが施設が不十分である。そこでマイクロウェーブ幹線を建設して、電話のない都市に電話サービスを開始して施設の充実を図り、併せて電気通信関係法規を整備してサービスの向上を企図して調査をした。	38	投	39. 2. 7~39. 3. 31	6	6,326
			39	投			1,163
5	震災復興計画調査	チンボテ、ウアラス地方に発生した地震被災地における地殻変動、土質、土木構造物等の調査。	45	実施調査	45. 7. 19~45. 9. 22	5	10,478
6	電気通信施設計画調査	電気通信施設復旧及び新設計画調査。	46	実施調査	46. 6. 23~46. 10. 20	7	} 26,045
			46	報告書説明	47. 3. 24~47. 4. 7	3	
7	テレビ放送網拡充計画調査	ペルー政府は経済社会発展5ヵ年計画(1971~75)並びに電気通信計画を国政の基本としており、国営放送事業の整備拡充が急務とされ、放送事業の全てを監督する国家情報機構(SINADI)を、1974年3月に発足させた。同国は極めて広範囲な地域で、受信不可能が難視聴のまま放置されているため本計画をもって全国的に放送網を拡充し、文化・教育・報道番組等の普及を図ろうというものであり、放送網拡充計画作成のフィージビリティ調査を実施するもので調査対象地域はリマをはじめ優先度の高い14地区で、昭和48年度は現地調査のみ実施した。 本調査においてはカハマルカほか5ヵ所についてテレビジョン放送網拡充に関するフィージビリティ調査を実施し、あわせて第1次調査(リマほか13ヵ所)の結果に基づく報告書の説明を行った。	48	実施調査	48. 1. 15~48. 4. 4	9	18,374
			49	実施調査	49. 8. 13~49. 12. 16	7	21,279
8	中部地区漁業基地建設計画調査	ペルー国政府の要請に基づき、漁業部門で、最優先度の高い中部漁業基地建設計画に関し、ベンタニーア、オケンド、コンチャンの三候補地について優先順位をつけるべく予定水揚量から所要水面積、岸壁の幅、水深、背後の機能施設用面積等を推定し、建設技術上の難易度等、諸般の検討等、適地選定のためのフィージビリティ調査を行った。	49	事前調査	49. 10. 1~49. 10. 30	5	8,634
			51	実施設計	51. 10. 25~51. 12. 10	10	} 46,529
			51	報告書説明	52. 3. 29~52. 4. 7	5	

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
		事前調査の結果、ベンタニーア地区を適地として選定し、適正規模の構造物の予備設計を行い、建設費の算定、工期、資金計画、勧告等からなる報告書を作成した。					
9	水産加工センター建設 計画調査	ペルー国は世界有数の漁業国であるが、水産物の加工利用技術は立ち遅れており、これの発展が緊急の課題となっている。このため同国は水産加工技術の研究、技術者の訓練等の調査研究に必要な水産加工センター建設を計画した。このため同センターのうち、わが国に対し無償資金協力要請のあった管理棟、実験棟等について現地調査を行い、報告書を作成した。	53	特	53. 7. 20～53. 8. 9	5	26, 810
			53	特（報告）	53. 10. 2～53. 10. 12	3	
10	地域精神衛生センター 基本設計調査	ペルー国政府は首都リマ市のペルー医科大学に隣接するリマック国立総合病院の隣接地に200床程度の病棟をもつ地域精神衛生センターを設置し、周辺地域の保健所等と協力して予防的地域精神医療対策を実施する意向を有し、その実現にわが国の協力を要請してきたもの。昭和54年度は基本設計調査を実施した。	54	特	54. 10. 14～54. 11. 3	7	35, 169
			54	特	55. 1. 16～55. 1. 25	4	
11	ベンタニーリャ飲料水 開発基本設計調査	首都リマ市に集中する人口の分散を図るため、リマ市の北方約20kmのベンタニーリャ地区を衛星都市に開発する計画がある。しかし、飲料水の不足のため同地区の発展が停滞しているため、同国は、この計画達成のため、同地区の生活用水の供給施設（深井戸の給水管）の建設について、わが国に無償資金協力を要請した。この要請に応じて本年度は基本設計調査を実施し、給水計画、施設計画を策定した。	55	特	55. 9. 18～55. 11. 1	5	42, 901
			55	特（報告）	56. 2. 22～56. 2. 28	2	
12	経済技術協力調査	わが国の経済技術協力を効率的に実施するため、わが国経済技術協力の実績のレビュー、協力実施上の問題点についての意見交換を行うとともに、昭和56年度実施する経済技術協力案件の選定、確認を行った。	56	事前調査	56. 10. 10～56. 10. 23	5	3, 249
13	地図作成事業調査	ペルー政府の要請に基づき、フニン県サティボ地区の地形図（縮尺：1/10万、対象面積約20, 000km ² ）の作成を行うもので、昭和56年度はコンタクトミッションの派遣を含む事前調査を実施し、S/Wの締結を行った。 昭和57年度は対象地区（約31, 250km ² ）の航空写真撮影作業を実施した。 昭和58年度は第2次作業として撮影および基準点測量を実施した。 昭和59年度は第3年次作業として、撮影、現地調査、空中三角測量、図化等を実施した。	56	事前調査	57. 1. 10～57. 1. 24	5	19, 092
			56	事前調査	57. 2. 24～57. 4. 15	7	
			56	事前調査	57. 3. 31～57. 4. 15	3	
			57	実施調査	57. 6. 28～57. 10. 7	9	145, 194
			57	実施調査	57. 9. 20～57. 10. 7	3	
			57	実施調査	58. 4. 8～58. 10. 19	2	
			57	実施調査	（報告書作成）		8, 140

ペ
ル
1

No.	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)	
		昭和60年度は前年度に引き続き、現地本格調査を実施した。 昭和61年度は、国内作業を完了し、最終成果品を提出した。	58	実施調査	58. 6. 19～58. 10. 22	22	} 173,071	
			58	実施調査	59. 3. 29～59. 6. 26	2		
			58	実施調査	(調査業務実施)			15,817
			59	実施調査	59. 6. 24～59. 9. 20	17	225,613	
			59	実施調査	59. 10. 8～59. 10. 15	1	33,656	
			60	実施調査	60. 7. 4～60. 9. 10	12	269,796	
			61	実施調査	(業務実施契約)		68,938	
14	カジャオ港整備計画調査	ペルー政府の要請に基づき、カジャオ港の長期整備計画のマスター・プランを策定することと、併せて短期整備計画に関し、F/Sを実施するものである。 昭和56年度は本格調査に先立ち、相手国と協議を行い、要請の背景・内容を確認し、S/Wを締結した。 昭和57年度は現地本格調査を行い、プログレスレポートを作成しペルー国側関係者に対する説明と協議を行った。 昭和58年度は最終報告書を作成・送付した。	56	事前調査	57. 3. 26～57. 4. 9	5	} 149,945	
			57	実施調査	57. 7. 16～57. 9. 11	9		
			57	実施調査	57. 7. 23～57. 11. 15	3		
			57	実施調査	57. 12. 6～57. 12. 20	5		
			57	実施調査	(報告書作成)			895
			58	実施調査	58. 4. 16～58. 5. 1	6		27,701
			58	実施調査	58. 8. 27～58. 9. 10	4		49,767
15	水産物利用・開発計画調査	豊富な水産資源を利用して安価なたん白源を供給するためのマリンビーフ製造パイロットプラント建設に係る事前調査を実施した。	56	特	56. 9. 19～56. 10. 3	3	2,997	
16	経済技術協力調査	中南米一般を参照のこと。 (ペルー、エクアドル、コロンビア、ホンデュラス、コスタ・リカ)	57	事前調査	57. 11. 6～57. 11. 26	(5)	(656)	
17	水産物利用開発計画	ペルー国民に蛋白質を補給するためのマリンビーフ製造、研究施設建設に係る基本設計調査を実施した。	57	特	57. 5. 21～57. 6. 14	8	} 33,010	
			57	特	57. 10. 2～57. 10. 11	4		
18	経済技術協力調査	中南米一般を参照のこと。 (ハイティ、ホンデュラス、ペルー、ボリヴィア)	58	事前調査	59. 2. 19～59. 3. 5	(5)	(1,189)	
19	チャンカイ・ワラル谷灌漑復旧計画	チャンカイ・ワラル谷地域はリマ市への重要な農産物供給地域であり、チャンカイ川の水を利用して灌漑が行われているが、灌漑施設は老朽化し機能が低下しており、用水は有効に利用されていないため、これら施設を修復し、灌漑効率を高めるべく復旧計画を立案するものである。本件F/Sの要請は昭和58年6月になされ、	58	事前調査	58. 11. 29～58. 12. 19	(5)	(4,118)	
			58	実施調査	59. 2. 15～59. 3. 30	8	34,911	
			59	実施調査	59. 6. 15～59. 8. 27	14	} 128,340	
			59	実施調査	60. 1. 13～60. 1. 24	5		

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)	
		これを受けて昭和58年12月事前調査を行いS/Wを締結した。また、昭和59年2月より3月にかけて実施第1次調査を実施し、水収支を中心とした基礎的調査を行った。 昭和59年度は第2次調査をしF/S最終報告書を取りまとめ、送付した。						
20	総合評価調査	中南米一般を参照のこと。 (ペルー、パラグアイ)	58	評価調査	59. 3. 2~59. 3. 24	(4)	(9,668)	
			59	評価調査			(207)	
21	リマ国際空港整備計画 調査	リマ市のホルヘ・チャベス国際空港の整備にかかる2005年までの長期計画を作成のうえ、1995年までの短期整備計画についてのF/Sを実施するものである。 昭和59年度は昭和59年11月に事前調査団を派遣し、S/Wを締結した。 昭和60年度は現地本格調査を実施し、最終報告書(案)の作成・提出を行った。 昭和61年度は最終報告書の作成・提出を行った。	59	事前調査	59. 10. 29~59. 11. 12	5	5,731	
			60	実施調査	60. 7. 14~60. 8. 27	14	116,855	
			60	実施調査	60. 11. 17~60. 12. 1	6		
			60	実施調査	61. 3. 11~61. 3. 25	5		
			61	実施調査	(業務実施契約)		9,289	
22	リマ市清掃機材整備計画	リマ市のゴミ収集、輸送、処理作業を改善するための機材の供与	59	特	59. 9. 24~59. 10. 11	6	22,426	
23	チョシーカ市上下水道 整備計画	首都圏の水質汚染源となっているチョシーカ市の上下水道の整備	59	特	59. 11. 26~59. 12. 22	10	21,316	
			59	特(報)	60. 3. 18~60. 3. 29	6	2,119	
			60	特(報)	(国内作業)		24,964	
24	経済技術協力調査	中南米一般を参照のこと。 (ホンデュラス、コロンビア、パラグアイ、ペルー)	59	形成基礎	59. 10. 24~59. 11. 18	(10)	(1,599)	
25	経済技術協力評価調査	中南米一般を参照のこと。 (エクアドル、メキシコ、ペルー)	60	評価調査	61. 2. 19~61. 3. 2	(3)	(1,098)	
26	リマック川防災対策計画	首都リマ市を貫流するリマック川の流域を対象とした洪水、土砂くずれ等による被害を防止するための防災対策のM/Pの作成及びF/Sを行うものであり、昭和61年度は事前調査を実施し、本格調査を開始し、プログレス・レポートを作成・提出した。 昭和62年度は現地調査に基づき、最終報告書を作成し、提出した。又、防災対策技術移転セミナーを実施した。	61	事前調査	61. 8. 17~61. 11. 12	7	64,001	
			61	実施調査	62. 2. 4~62. 3. 30	12		
			62	実施調査	62. 6. 10~63. 1. 30	19		97,415
			62	実施調査	63. 1. 17~63. 1. 28	1		2,378

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
27	経済技術協力調査	水産セクター（ペルー、アルゼンティン）	61	評価調査	62. 3. 13～62. 4. 7	(4)	2,858
			62	評価調査	(業務実施契約)		1,834
28	経済技術協力評価調査	(国別評価調査)	62				1,121
29	リマ市下水道整備計画	リマ市南部の下水道を対象に、既存システムの改善及び処理施設の建設計画に関するフィージビリティ調査を実施するものであり、昭和63年度は事前調査団を派遣し、実施細則を締結するとともに、それに基づき本格調査を開始した。 平成元年度は昭和63年度に引き続き本格調査を実施し、最終報告書を提出した。	63	事前調査	63. 11. 28～63. 12. 13	6	12,927
			"	実施調査	元. 4. 8～元. 6. 30	8	
			元	実施調査	元. 10. 1～2. 3. 2	16	177,255
			"	実施調査	(業務実施契約)		
30	リマ首都圏都市基本図 作成調査	ペルー政府の要請に基づき、リマ首都圏の都市基本図の作成調査を実施するもので、まず本格調査に先立ち、調査の範囲と内容等につき先方政府と協議し、実施調査に係るS/Wの締結を目的とする事前調査を実施した。 さらに、本格調査（第1年次作業分）として、対象地域の空中写真撮影を実施した。 平成2年度は元年度に締結した実施細則（S/W）に基づき本格調査に着手し、標定、現地調査、図化、編集などを行った。 平成3年度は2年度に引き続き本格調査を実施し、都市基本図の製図まで行った。	元	事前調査	元. 8. 23～元. 9. 26	7	50,112
			"	実施調査	2. 2. 8～2. 2. 25	6	
			2	実施調査	2. 6. 25～2. 11. 10	18	218,637
			3	実施調査	3. 7. 8～3. 9. 23	13	141,463
31	沿岸漁港開発計画調査	ペルー中部地域における水産業総合開発を目的とした漁港建設計画に関するフィージビリティ調査を実施するものである。昭和63年度は事前調査団を派遣し、実施細則を締結した。 平成元年度は、そのための実施調査を実施した。 平成2年度は短期開発計画に係る周辺環境への影響及び対応策について調査・検討を行った。	63	事前調査	63. 11. 25～63. 12. 11	6	9,255
			"	実施調査	元. 4. 10～元. 5. 9	7	
			元	実施調査	元. 10. 19～2. 3. 30	14	163,106
			"	実施調査	元. 4. 10～元. 6. 11	11	
			2	実施調査	2. 8. 20～2. 10. 26	7	51,612
			"	実施調査	(資機材購送)		
32	リマ市周辺地域生活用 水開発計画調査	リマ市周辺地域の水需要増加に対応して、同地域のチジョン川、ルリン川水系の地下水開発を計画するものであり、平成2年度は事前調査を実施し、実施細則（S/W）を締結するとともに、関連情報・データ収集を行い、本格調査計画の作成に取り組んだ。	2	事前調査	3. 1. 22～3. 2. 5	5	7,361

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		平成2年度は事前調査を実施し、実施細則(S/W)を締結したが、同国治安状況の悪化のための本格調査の着手に至っていない。					

ペ
ル
ー

海外開発計画調査事業

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	木材利用工業開発計画調査	(チリ、ペルー) 中南米一般を参照のこと。	38	海	38.10.15~38.12.19	(5)	3,956
2	鉱工業プロジェクト選定確認調査	①(ブラジル、エクアドル、グアテマラ、メキシコ、ペルー) 中南米一般を参照のこと。	47	海	47.10.23~47.11.19	(2)	(422)
		②(エクアドル、グアテマラ、ペルー) 中南米一般を参照のこと。	48	海	48.11.18~48.12.3	(2)	(529)
3	包蔵水力調査	アマゾン河支流マラニオン河、アブリマク河及びチチカカ湖流域を対象として包蔵水力に関する基礎調査。	39	海	39.11.27~40.1.25	7	8,531
			40	海			1,681
4	プノ県電化計画調査	日本の経済協力により開発されたタクナ県アリコータ発電所よりの送電を主体としてプノ県チチカカ湖周辺、市町村の電灯、小規模工業、かんがい揚水のための電化計画調査。	41	海	42.2.15~42.3.31	4	5,217
			42	海			3,295
5	リマ〜チンボテ間送電建設計画調査	昭和45年5月の地震災害に対する復興計画の一環としてリマ地方とチンボテ地方とを結ぶ送電線建設計画の調査。	45	海	46.1.15~46.2.28	5	6,865
			46	海	46.8.1~46.8.15	1	8,939
6	鉄鋼事業開発計画調査	NAZCA, TALARA, SOGESAの3地点における製鉄所新設及び拡張のための技術的可能性に関する調査、地域の選定、設備規模等の検討。	46	海	46.11.26~46.12.25	7	13,012
7	ヤングス水力発電開発計画	ペルー政府の要請に基づき同国が目下緊急課題としている、①昭和58年以降不足が予想される同国北部への電力の供給。②Limaからペルー第2の産業都市であるChiclayoに至る沿岸地域の開発。③Michiquillay銅鉱山開発への電力の供給に資するためヤングス水力発電開発計画に関するプレ・フェジビリティ調査を行った。	48	海	49.2.5~49.3.26	7	18,556
			49	海	49.11.15~49.11.30	1	28,728
8	ミチキジャイ送電線計画調査	ペルー動力鉱山省が開発中のカハマルカ県ミチキジャイ銅鉱山の開発に必要な電力を同国の中央電力系統及びザンタ電力系統からの供給によってまかなうための送	49	海	49.11.12~50.1.10	6	17,445
			50	海	50.9.5~50.9.14	1	29,067

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
		電計画につきフィージビリティ調査を実施した。					
9	サンタ河電源開発計画調査	ペルー国は、水力エネルギー開発のための諸調査を実施中で、その一つとして、サンタ河のカニオンデルパト発電所の拡張工事最終段階における取水と、計画中のエル・チョロ発電所水量確認とについての水力発電開発に係る予備調査を完了した。この調査によりさらに幾つかの利用可能性について、わが国派遣の専門家に協力要請がありサンタ河流域の総合開発全体計画策定の予備調査に協力した。この結果、同流域の電源開発計画調査についてわが国に協力を要請してきた。このためエル・チョロ発電所の下流に予定されているC ₂ 及びC ₃ 発電所計画についてのプレ・フィージビリティ調査、ならびにカニオンデルパト発電所からC ₃ 計画地点までの間の水資源開発について、昭和52年度に事前調査を実施した。 昭和53年度は前年度の現地調査に基づき、報告書を作成し、現地説明を行った。	52	海(事前)	53. 2. 22~53. 3. 29	11	32,946
			53	海	53. 11. 4~53. 11. 18	1	38,617
10	ポエチョスクルムイ水力発電開発計画調査	ペルー国の北端、ピウラ県チラ河に昭和52年灌漑計画に基づき、ポエチョスダム(堤長11km、高さ50m、貯水量1億t)が建設された。このダムの放流管の末端を分岐して約11MW、および貯水池よりピウラ河への導水路に約12MW、合わせて23MWの水力発電が計画されている。同国の要請により同プロジェクトについてのフィージビリティ調査のための現地調査を実施した。	53	海	54. 2. 25~54. 3. 29	8	23,798
			54	海	54. 10. 30~54. 11. 12	1	39,460
11	マルコナ鉱山鉄鉱石焼結工場建設計画調査	マルコナ鉱山は、ペルー国経済復興政策の動力・鉱山セクターの重要な一翼を担うべく増産に力を入れているが産出される鉄鉱石は、高い鉄分を有しているにもかかわらず、サルファー含有率が高いため、対日輸出は減少してきている。このため、鉱山開発を担当しているHierro-Peruは当地に焼結工場を建設し、高付加価値を持ち、国際市場において十分受けいられる商品としての焼結鉄を生産することを計画し、わが国に対しF/Sの要請をしてきたもの。 昭和54年度は、年産2,500千トンの焼結工場の建設について、需給面、原料面、インフラ、ユーティリティー面、財務面からのF/Sを実施した。 昭和55年度は54年度に実施した現地調査のドラフト・レポートの説明と最終報告書の作成を行った。	54	海	54. 11. 20~54. 12. 10	9	46,734
			55	海(報告)	55. 7. 12~55. 7. 21	4	12,394

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
12	鉱工業プロジェクト 選定確認調査	(アルゼンティン、パラグアイ、ペルー) 中南米一般を参照のこと。	56	海	57. 2. 9~57. 2. 28	(3)	(1,930)
			57	海			(63)
13	アリコータ水力発電開 発計画	ペルー国タクナ県中部を南西に流れ太平洋に注ぐCuribaya川中流にあるアリコー タ湖への水補給計画およびその下流のアリコータ第3発電所を建設する計画であ る。 昭和57年度は、F/S実施に先立ち現地踏査およびS/Wの協議・署名を行い、 引き続いて、地形・地質調査を実施すると共に土木、電気、送電、水文電力需給、 経済等に関する調査および資料収集を行った。 昭和58年度は、①現地調査(中間報告書においてアリコータ湖水補給計画の代替 案の比較検討を行い最適計画を決定するとともに経済分析に必要な資料を収集し た)、②国内解析(最終報告書を作成した)、③報告書説明(最終報告書ドラフト を現地で説明し内容について合意した)、を行った。	57	海(事前)	57. 6. 14~57. 7. 8	6	14,728
			57	海	57. 10. 15~58. 3. 25	13	82,034
			58	海	58. 7. 15~58. 8. 13	3	} 66,462
			58	海(報告)	58. 11. 28~58. 12. 13	2	
14	PVC工場建設計画	本事前調査は、ペルー政府からの要請に沿った調査協力の可否につき検討し、本 格調査に係る基本的事項をペルー側政府機関と協議し、合意事項をS/Wとして とりまとめることを目的とする。 昭和57年度は、①ペルー政府からの要請の背景、②S/W協議、③関連情報およ び資料の収集(①主要原料(石灰石)の適否判定のための資料収集②ユーティリテ ィーおよびインフラストラクチュアに関する基礎資料の収集③PVC関連産業に関 する基礎資料の収集)等について調査を実施した。 昭和58年度は、昭和57年度に実施した事前調査報告書を作成するとともに事前調 査団が締結したS/Wに基づき6月に本格調査を行い、国内解析作業を経て11月ド ラフト説明チームを派遣し、2月に最終報告書を作成した。	57	海(事前)	58. 1. 25~58. 2. 7	4	5,316
			58	海	58. 6. 3~58. 7. 16	7	} 55,972
			58	海(報告)	58. 12. 5~58. 12. 13	4	
15	エネ川水力発電開発計 画マスタープラン作成	本調査はペルー国中部にありアマゾン川の最上流部であるエネ川の水力発電開発 のマスタープラン調査を行うために、S/W協議の後、署名することを目的とす る。 昭和58年度は、関係機関との協議、土木・地質・電気に関する資料収集、現地踏	58	海(予備)	58. 11. 29~58. 12. 10	3	3,242
			58	海(事前)	59. 3. 10~59. 3. 25	6	10,853
			59	海	59. 7. 6~60. 2. 12	} 25	} 190,064
			59	海	60. 2. 24~60. 3. 10		

ペ
ル
ー

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
		査を行ったうえ、それらの結果およびS/W協議結果の取りまとめを行った。	59	海	(機材供与)		31,513
		昭和59年度は、インセプションレポートの作成・説明に引き続き、現地調査(踏査、地形図作成、地質調査)を実施するとともに、これら現地調査の結果を国内にて解析した。	60	海	60. 6. 23~60. 7. 13	6	} 81,380
		昭和60年度は、昭和60年6月インテリムレポートの説明・協議、11月ドラフトファイナルレポートの説明・協議を行ったあと、昭和61年1月ファイナルレポートを送付した。	60	海(報告)	60. 11. 17~60. 11. 30	4	
16	鉱工業プロジェクト・フォローアップ調査	中南米一般を参照のこと。 (ドミニカ共和国、ペルー、コロンビア)	58	海(フォ)	58. 8. 28~58. 9. 16	(5)	(2,929)
17	鉱工業プロジェクト選定確認調査	中南米一般を参照のこと。 (ペルー、チリ)	60	海	60. 8. 12~60. 8. 25	(5)	(2,929)
18	鉱工業プロジェクト選定確認		2	海	3. 1. 14~3. 1. 26	8	6,981

資源開発協力基礎調査事業

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	ヤウリ地区資源開発協力基礎調査	① 第1年次調査 鉱物資源賦存の可能性の確認。	46	資	46. 10. 22~46. 12. 29	9	61,850
			47	資	47. 9. 20~47. 12. 23	27	155,880
			48	資	48. 10. 10~49. 2. 28	24	142,218
			49	資			39,987
		② 第2年次調査 昭和47年度は、地質調査および動力調査を行った。					
		③ 第3年次調査 調査対象地域は同国南部のS14° 30' ~15° 00', W71° 00' ~71° 30' の各線でかこまれた地区のうち面積約3,000km ² の有望地区で、地質調査、物理探査(I・P)、ボーリングを行った。					
2	ミチキジャイ地区資源開発協力基礎調査	ペルー政府の要請に基づいてミチキジャイ鉱山開発の可能性を調査するもので、調査対象地域は、同国北部に所在するカハマルカ市の北東約25kmに位置するミチキ	48	資	49. 3. 6~49. 3. 26	1	} 27,174
			48	資	49. 3. 20~49. 3. 31	3+(5)	

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
		ジャイ鉱山地区で、ボーリング、構造坑道を行った。 ペルー政府の要請に基づいてミチキジャイ鉱山開発の可能性を調査するもので調査対象地域は、同国北部に所在するカハマルカ市の北東約25kmに位置するミチキジャイ鉱山で、ボーリング、構造坑道調査を行った。	49	資	49. 4. 1~49. 8. 31	(3)	} 110, 157
			49	資	49. 11. 6~49. 11. 26	2	
			50	資	50. 4. 22~50. 9. 14	4	30, 531
3	中部地区資源開発協力基礎調査	昭和49年度より、ペルー政府の要請に基づき中部地区資源開発協力基礎調査を開始した。49年度は、本調査実施に関する協定折衝並びに現地踏査を行いリマ市北東約200kmの面積約20,000km ² の地区を4ヵ年計画で調査を実施することの合意を得た。 昭和50年度はその第1段階として、対象面積約20,000km ² のうちの10,000km ² を地化学探査を含む地質調査を実施。 昭和51年度も、地化学探査、地質調査を続行。 (注) 昭和49年度の+(4)は金属鉱業事業団(MMA)予算。	49	資	50. 3. 5~50. 3. 25	1+(4)	841
			50	資	50. 9. 2~51. 2. 29	11	66, 743
			51	資	51. 5. 25~51. 10. 26	18+(5)	294, 904
			52	資	52. 6. 1~52. 11. 20	23	243, 013
			53	資	53. 5. 12~53. 10. 4	16	165, 367
4	クスコ南部地区地域開発計画調査	ペルー国政府の要請にもとづき、クスコ南部地区のコロコワイコ鉱山等の開発と、それにとりまなう地域開発計画の策定を目的とする調査。 昭和54年度は、鉄道、港湾、水資源、農業、電力の諸問題の検討と地勢調査のための物理探査(約20km)及びボーリング工事(縦孔500m)を実施した。	53	資	53. 8. 11~53. 10. 24	11	49, 859
			54	資	54. 8. 10~54. 11. 9	13	119, 659
5	資源開発協力基礎調査フォローアップ調査	(ボリヴィア、ペルー) 中南米一般を参照のこと。	54	資	54. 8. 10~54. 9. 2	(4)	(964)
6	オヨン地区資源開発協力基礎調査	ペルー国政府の要請にもとづき、同国オヨン地区の鉱物資源賦存の可能性についての調査を実施するもの。 昭和54年度は、地質調査、地化学探査(約700km ²)を実施した。 昭和55年度は、第1年次調査の結果、抽出された有望地域の地質調査、物理探査、ボーリングを行った。 昭和56年度は第2年次調査の結果、抽出された有望な鉱産地およびIP異常帯を中心に地質精査、物理探査、ボーリングを実施した。	54	資	54. 7. 13~54. 11. 25	15	67, 747
			55	資			4, 760
			55	資	55. 6. 18~55. 8. 31	} 15	153, 689
			55	資	55. 6. 1~55. 11. 7		
			55	資	55. 6. 23~55. 6. 26		
			55	資	55. 7. 9~55. 10. 17		
			55	資	55. 9. 10~55. 10. 1		
56	資	56. 6. 15~56. 10. 23					

ペ
ル
1

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
			56	資	56. 5. 22~56. 10. 23	18	204, 825
			56	資	56. 7. 10~56. 11. 3		
			56	資	56. 10. 5~56. 10. 23		
			56	資	56. 10. 19~56. 11. 13		
7	イスカイクルス地区 (オヨン) 資源開発調査	本調査は、オヨン地域の調査結果、含銀鉛・亜鉛鉱化帯を補足したイスカイクルス地区において、坑道探鉱および坑外・坑内ボーリングの手法によりさらに精密な地質構造を解明しようとするものである。 昭和57年度は当該地区においてボーリング調査5孔延1,250m及び坑道調査450mを実施した。 昭和58年度は当該地区においてボーリング調査4孔延890m及び坑道調査680mを実施した。 昭和59年度は、ボーリング調査10孔1,900m及び坑道調査748mを実施した。 昭和60年度は、昭和59年度の坑道調査(748m)、ボーリング調査(1,900m)の結果を解析し、年次報告書を作成するとともに、3年間の結果を総括報告書に取りまとめ、ペルー政府に送付した。	57	資	57. 7. 12~58. 3. 31	16	192, 425
			57	資	(機材供与)		
			58	資	58. 4. 1~58. 6. 27	3	261, 583
			58	資	58. 5. 2~59. 3. 16		
			58	資	(機材供与)	10	11, 139
			59	資	59. 5. 7~60. 3. 25		
			59	資	59. 11. 26~59. 12. 22	211, 145	
			59	資	(国内解析作業 報告書作成)		37, 311
			59	資	(機材供与)		2, 730
60	資	60. 5. 8~60. 6. 1	3	80, 872			
8	事前調査折衝	世界一般を参照のこと。 (ペルー、ケニア、インドネシア)	57	資	57. 5. 7~57. 5. 14	5	(812)
9	コタウアシ地域資源開発調査	コタウアシ地域において鉱脈型の金・銀鉱床の賦存状況を把握することを目的とする。 昭和60年度は3ヵ年計画の第1年次調査として、ランドサット画像解析(3万km ²)、地質調査、地化学探査(概査5,200km ² 、精査800km ²)を実施し、全域の地質構造を把握するとともに、4地区において鉱化変質帯を把握した。 昭和61年度は、地質調査・地化学探査(170 km ²)及びボーリング調査(10孔:1,000m)を実施し、金・銀の地化学異常帯と重複する鉱化変質帯の広がり把握するとともに、強珪化帯や石英脈を伴う低品位の鉱化帯を確認した。 昭和62年度は、地質調査・地化学探査(7 km ²)、トレンチ調査(300m)及びボー	60	資	60. 9. 30~60. 12. 27	8	87, 000
			61	資	61. 7. 14~61. 11. 28	8	93, 347
			62	資	62. 6. 28~62. 10. 30	6	78, 460

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		リング調査(5孔、1,150m)を実施した。					
10	イスカイクルス地域 開発計画調査	オヨン地域資源開発調査(昭和54年度～56年度)により、鉛、亜鉛、銀鉱床が発見されたイスカイクルス地域において、鉱山開発とそれに伴うインフラ整備等を含む調査を行った。	60	資	60.10.7～60.11.11	6	69,235
			60	資	(機材供与)		7,075
11	事前調査折衝	世界一般を参照のこと。 (マレーシア、ペルー、インドネシア、中国、チリ、フィジー)	60	資	60.8.21～60.8.30	5	2,929
			60	資	60.6.26～60.6.28		
12	フォローアップ調査		63	資	63.5.25～63.5.29	4	1,506
13	パチャピリアーナ地域 資源開発調査	パチャピリアーナ地域において、銅、鉛、亜鉛、金の鉱床の賦存状況を把握することを目的とする。 昭和63年度は、ランドサット画像解析(2,820km ²)、地質調査・地化学探査(325km ²)、物理探査(CSAMT25km ²)を実施した。 平成元年度は、地質調査・地化学探査(384km ²)、物理探査(CSAMT法35km ²)、ボーリング調査(3孔、816m)を実施した。 平成2年度は、地質調査(2.5km ²)、物理探査(重力法33km ²)、ボーリング調査(16孔、2,330m)を実施した。 平成3年度は地質調査(16.25km ²)及びボーリング調査(2孔、220.7m)を実施した。	63	資(事)	63.8.6～63.8.18	1	70,622
			63	資	63.10.17～63.12.30	8	608
			元	資	元.7.10～元.12.29	8	122,691
			2	資	2.7.2～3.3.8	11	162,516
			3	資	3.6.24～3.8.5	2	48,762

[援助効率促進事業]

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	第三国研修評価調査	水産加工	63	案件別評価調査	元.3.27～元.4.7	4	3,893
2	SENATI南部地区 職業訓練センター評価 調査		63	案件別評価調査	63.11.28～63.12.10	4	3,892

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
3	経済技術協力評価調査	(国別)	63	横断的評価調査	63. 11. 24～元. 3. 31	(13)	1, 209
4	水資源開発分野		元	横断的評価調査	元. 11. 20～元. 12. 8	(5)	7, 314
5	地震防災センター	工作所・材料保管所建設	元	横断的評価調査	2. 1 ～ 2. 3		6, 300
6	プロジェクト形成調査	有価金属回収計画	2	プロジェクト形成調査	2. 12. 2～ 2. 12. 16	5	6, 150
7	プロジェクト確認調査	(一般)	2	プロジェクト形成調査	2. 9. 15～ 2. 9. 23	6	5, 038
8	日本・ペルー地震対策センター		2	案件別評価調査	2. 10. 27～ 2. 11. 12	5	4, 696
9	野菜生産技術センター		2	案件別評価調査	2. 11. 26～ 2. 12. 11	5	5, 548

〔無償資金協力〕

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)		
1	水産加工センター設立計画	水産物の利用及び加工の研究を目的とした水産加工センターの設立と関連機材の供与。	53. 11. 3	5	53	基本設計	53. 7. 20～53. 8. 9	5	開発調査 (427) 8, 645		
					53	" (報)	53. 10. 2～53. 10. 12	3			
					53	実施促進	54. 3. 23～54. 3. 30	(2)			
					63	フォローアップ					
2	地域精神衛生センター設立計画 (i) (ii)	急速な対策が迫られている精神医療体制の整備を図るため、精神衛生センターを設立。	55. 9. 3	10	54	基本設計(事)	54. 7. 8～54. 7. 22	3	開発調査 (479)		
					56. 6. 9	12	54	基本設計		54. 10. 14～54. 11. 3	7
							54	" (報)		55. 1. 16～55. 1. 25	4
							56	実施促進		56. 7. 21～56. 8. 2	(2)

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)		
					56	実施促進	57. 3. 19~57. 4. 1	(2)	(448)		
3	ベンタニージャ生活用水供給計画 (i) (ii)	ベンタニージャ市をリマの衛星都市として開発し、リマの人口を分散させる計画の実施に必要な上水道施設及び機材の供与。	56. 3. 26	3	55	基本設計 (事)	55. 7. 1~55. 7. 9	3	開発調査		
			56. 9. 11	6	55	基本設計	55. 9. 18~55. 11. 1	5			
					55	" (報)	56. 2. 22~56. 2. 28	2			
							56	実施促進	56. 7. 21~56. 8. 2	(2)	(479)
								実施促進	57. 3. 19~57. 4. 1	(2)	(448)
							57	実施促進	57. 12. 16~57. 12. 27	2	65
							61	フォローアップ	61. 10. 19~61. 11. 1	(3)	2,207
					62				18,531		
4	水産物利用開発計画 (マリコンビーフ)	水産資源の利用開発を通じて国民の食生活の改善を図ることを目的とし、これに必要な施設の建設及び機材の供与。	57. 9. 23	23.50	56	基本設計 (専)	56. 9. 19~56. 10. 3	3	開発調査		
					57	基本設計	57. 5. 21~57. 6. 14	8			
					57	" (報)	57. 10. 2~57. 10. 11	4			
							57	実施促進	57. 10. 11~57. 10. 25	(3)	(1,062)
							58	実施促進	58. 12. 4~58. 12. 20	(2)	(1,110)
							60	フォローアップ	60. 9. 30~60. 10. 12	2	1,898
				2	フォローアップ	3. 4. 7~3. 4. 22	(5)	2,463			
5	全国国民協力機構拡充計画	低所得者層の福祉向上のため地域住民、大学生等が自発的な勤労奉仕により、インフラ整備を行う全国々民協力機構を拡充するのに必要な機材の供与。	58. 3. 16	13.50	58	実施促進	58. 6. 25~58. 7. 10	(2)	(2,791)		
6	リマ市清掃機材整備計画	人口増加に伴うゴミの増大に対し、特に緊急度の高い市北部のゴミ処理に必要な機材の供与。	60. 3. 25	8.57	59	基本設計	59. 9. 24~59. 10. 11	6	開発調査		
			2. 11. 6	1.89	61	フォローアップ	61. 10. 19~61. 11. 1	(3)	2,207		
					元	フォローアップ	2. 2. 12~2. 2. 22	3	4,939		
7	チョシーカ市上下水道網改善計画	首都圏の水質汚染源となっているチョシーカ市の上下水道の整備。	60. 8. 21	9	59	基本設計	59. 11. 26~59. 12. 22	10	開発調査		
			61. 8. 22	10.40	59	" (報)	60. 3. 18~60. 3. 29	6			
			63. 1. 20	1.09	62	フォローアップ	62. 9. 2~62. 9. 16	7		13,669	

ペ
ル
1

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)						
8	野菜栽培訓練センター建設 計画	野菜栽培技術者及び農民の訓練を通じ野菜 生産の拡大を図ることを目的とした訓練セン ターの建設	63. 9. 19	8. 46	61	基本設計(本)	62. 3. 31~62. 4. 25	8	2,598						
					62	基本設計(報)	62. 7. 19~62. 7. 29	4	33,325						
9	バイタ水産訓練センター建 設計画	バイタ市に小規模沿岸漁民を対象とする水 産訓練センターの建築、港湾施設の建設及び 資機材の供与。	62. 2. 16	12. 41	61	基本設計(本)	61. 6. 16~61. 7. 12	10	42,650						
					61	基本設計(報)	61. 9. 30~61. 10. 10	5							
10	食糧増産援助	早魃対策食糧増産計画。 早魃に見まわれ食糧生産能力が大幅に低下 した同国の農業生産性向上のため、早魃の影 響の比較的小さい北部ピウラ地域を中心に、 農業機械を調達する計画。これに必要な資金 を供与する。 平成2年度は資機材等調査を実施した。	62. 4. 22	2	62	実施促進	62. 10. 11~62. 10. 24	(2)	805						
			2. 11. 6							5					
			3. 10. 10							6					
11	チャンカイ・ワラル谷かん がい施設復旧計画	ペルー首都圏への食糧供給基地のひとつで あるチャンカイ・ワラル谷地区の老朽化した 農業生産基盤施設を復旧する。	元. 6. 27	9. 84	63	基本設計(本)	元. 1. 23~元. 3. 3	9	23,607						
			2. 10. 3							6. 91	元	基本設計(報)	元. 5. 8~元. 5. 18	4	32,009
											3	実施促進	3. 11. 28~ 3. 12. 16	1	974
12	首都圏公共輸送力増強計画	ペルーの首都リマ市では、人口増加および 居住地域の拡大が著しい勢いで進展してお り、唯一の公共交通手段となっているバス輸 送の重要性が高まっている。しかし車輛の老 朽化および外貨不足による保守部品の購入難 により、輸送能力が減少傾向にあり、市民生 活に多大な影響を及ぼしている。このため同 国政府は、「首都圏公共輸送力増強計画」を 策定。これに必要な車輛の供与。	元. 4. 11	10. 30	63	実施促進	元. 3. 13~元. 3. 28	(3)	3,936						
										元	実施促進	2. 2. 5~ 2. 2. 18	(2)	(2,667)	
13	その他海外事務所執行分				2				450						

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
14	ヴィラコータ湖取水計画	ペルー南部タクナ県に位置するアリコータ湖の枯涸を防ぐため、近隣のヴィラコータ湖から取水し、アリコータ湖へ導水する計画。平成2年度は、事前調査団を派遣した。	3. 10. 10	2. 45	2	基本設計(事)	3. 3. 12~ 3. 3. 25	3	3,581
					3	基本設計	(国内作業)		4,962
15	リマ市上水井復旧計画	リマ市の生活用水確保のための緊急改善措置としての既設用水井29本分のリハビリテーション。(既設井と新規掘削井との連結)			2	基本設計(事)	3. 4. 6~ 3. 4. 25	5	4,746
					3	基本設計	(国内作業)		4,898
16	地方小水力発電所復旧計画	ペルー全体の電化率は約40%であるが、地方及び農村部の電化率は16.4%に過ぎない。このためペルー政府は、地方及び農村部において小規模水力発電による電化に力を入れている。しかし、現在同発電設備約300ヵ所のうち43発電所が、修理不能で運転を停止している。現在停止中の発電所のうち5ヵ所7組の発電機の交換を含む設備の復旧計画。これに必要な資金の供与。	3. 10. 10	4. 72					
17	教育施設修復計画	ペルーの辺境地域の小・中学校の施設の整備のため建設資材(亜鉛鉄板)を供与する。これに必要な資金の供与。	4. 6. 12	3. 01					

(開発協力方式技術協力)

開発基礎調査

No.	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	ミチキジャイ銅鉱山開 発道路計画調査	ペルー国ミチキジャイ銅山開発事業に付随して必要となる電力道路、水資源、港湾、都市等の関連諸施設の整備事業の一環をなす道路の整備(拡幅、舗装、新設等)	49		50. 2. 25~50. 3. 26	6	17,406
			50				38,698

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)	
		につき技術的・経済的検討を行うことを目的とする調査。						
2	ミチキジャイ銅鉱山開発関連都市開発及び港湾整備計画調査	<p>北部カハマルカ県に位置するミチキジャイ銅鉱山は世界有数の埋蔵量を誇る鉱山で、その開発は同国の外貨獲得の増大のためにも、また、後進地域である同国北部地域の開発のためにも注目されており、現在、開発の準備が進められている。</p> <p>本調査は、鉱山の開発に関連して必要となるインフラストラクチャーの一環としての都市開発および港湾整備計画調査である。すなわち、将来、事業団からの融資等の具体的可能性のある都市開発および港湾整備に関し、候補地点の現地調査を実施し技術的経済的検討を行うとともに開発効果等を分析し、当該整備事業に資することを目的とする。</p>	50		51. 2. 27～51. 4. 12	11	19,317	
3	イラリオン銅鉱山開発関連施設整備計画調査	<p>ペルー国北部ウアマコ県に位置するイラリオン銅鉱山開発事業に関連して必要でかつ、融資の具体的可能性のある道路および鉱山都市の整備計画についての技術的経済的調査</p>	52		52. 9. 18～52. 11. 1	7+(1)	52,965	
4	アマゾン林業開発協力	<p>① ペルーの国土面積の約50%は森林であり、この中には良質材を供給する針葉樹林および合板用原木を供給する広葉樹林等の貴重な森林資源が含まれている。本件計画は、ペルー国の森林と林業の現状を調査し、わが国民間企業を通じた同国の森林開発への協力の可能性につき調査するものである。</p> <p>② 現地実証調査</p> <p>昭和56年度は基礎二次調査を実施し、森林資源の賦存状況森林開発政策および森林の取扱い技術の確立の手法に関する調査を行った。</p> <p>上記基礎二次調査の結果を踏まえ、アマゾン林業開発協力現地実証調査を同国で実施するため、INFORと協議を行い、S/W協議および署名を行うとともに開始に必要な手続諸準備の促進につき調査・打合せを行った。</p> <p>さらに実施設計のための調査団を派遣し、プロジェクト開始にともなう諸施設の設計および実施計画に関する調査打合せを行った。</p> <p>昭和57年度は、同年度から本格的に事業が開始された本プロジェクトに関し、事業の進捗状況、専門家の生活環境、カウンターパート機関との協力関係等につき調</p>	53	基礎一次調査	54. 3. 2～54. 4. 2	7	7,791	
			54		(同上報告書作成)			2,623
			56	基礎二次調査	56. 7. 3～56. 7. 24	6	7,009	
			57		(報告書作成)			820
			56	計画打合	56. 10. 5～56. 10. 19	6	5,607	
			56	計画打合	57. 2. 22～57. 3. 20	3	4,740	
			56		(現地実証調査費)			58,614
			57		(報告書作成)			988
			57	作業監理	58. 3. 14～58. 3. 23	1	2,940	
			57	作業監理	58. 3. 14～58. 3. 25	2		
57		(現地実証調査費)			107,516			
58	作業監理	58. 9. 28～58. 10. 7	2	3,543				
58	作業監理	58. 9. 28～58. 10. 10	1					

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
		<p>査を行った。</p> <p>また、これよりアマゾン地域の森林において、自然環境や生態系の保全と調和させた更新技術を確立するため必要な指導・助言を行って来ている。</p> <p><昭和61年度（作業監理）></p> <p>昭和61年10月をもって、本事業のR/D期間が終了することとなるため、相手国関係機関と合同して事業の進捗状況、並びに技術的問題点等を調査し、実証調査事業の成果を総合的に評価した。</p> <p><昭和61年度（計画打合）></p> <p>昭和61年6月に実施したエバリュエーション調査の結果、R/D協力期間が更に5ヵ年間延長されることになったが、今回は相手国関係機関と延長後の5ヵ年間の基本計画について協議、策定を行った。</p> <p><昭和62年度（作業監理）></p> <p>本事業に関しては、昭和56年10月討議議事録が締結、さらに昭和61年10月に5ヵ年の協力期間延長討議議事録が締結され、森林資源の生産と保続を図るため、天然更新、人工更新の試験林造成が行われ、各種試験が実施されている。そこで本事業の進捗状況と今後の見通し、技術的問題点、相手国機関との協力関係等につき調査するとともに、必要な指導助言を行った。</p> <p><昭和63年度></p> <p>ペルー国内とりわけ試験地周辺の治安情勢悪化に伴う日本人専門家等に対する安全対策や事業計画の見直しについて、ペルー政府関係機関と十分に協議、また本実証調査の成果品である「実証データ」の取りまとめについて現地専門家等に必要な指導・助言を行った。</p> <p><平成元年度></p> <p>昭和56年10月R/D締結（昭和61年10月協力期間延長R/D締結）以来、森林資源の持続的開発を目的とした各種試験が順調に実施されたが、サイト周辺の治安が悪化したため、目的達成状況及び治安情勢見通し等に基づき、プロジェクト継続実</p>	58		(現地実証調査費)		} 109,288
			58		(報告書作成)		
			59	作業監理	59.10.8~59.10.23	5	6,037
					(現地実証調査費)		59,542
					(現地実証調査費)		17,675
			60	作業監理	60.10.20~60.11.3	4	4,981
					(現地実証調査費)		82,333
					(現地実証調査費)		21,825
			61	作業監理	61.6.15~61.6.27 (現地実証調査費)	5	} 92,708
			61	計画打合	61.10.19~61.10.31	5	
			61	作業監理	61.6.15~61.6.27	5	
			61	現地実証調査			} 56,532
			62	作業監理	62.11.11~62.11.22	5	
			62	現地実証調査			} 68,560
			63	作業監理	元.4.10~元.4.22	6	
			63	現地実証調査			} 45,486
			元	計画打合	2.2.5~2.2.13	6	
			元	現地実証調査			} 18,251
			2	計画打合	2.12.10~2.12.18	4	
			2	現地実証調査			

ペ
ル
1

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
		施の適否についてペルー側と協議した。 <平成2年度> 最終報告書の内容及び活用方法についてペルー側と協議を行った。					
5	ワンサラ鉱山関連施設整備計画	クヌコ県クランカ地区にて操業中のワンサラ鉱山に必要な水力発電所の建設に関し、昭和57年度は電力事情一般に関する資料収集、発電所建設候補地の現地踏査、対象地域の自然、社会条件に関する資料収集、実施調査実施時の問題点の把握等の調査を実施した。 昭和58年度は、水力発電所建設に必要な地質、土木、電力、需要想定、財務・経済分析を中心とするF/S調査を実施した。これにより、本件プロジェクトの実行可能性が確認された。	57	関連施設整備調査	57. 12. 13~57. 12. 25	6	8,975
			58	関連施設整備調査	58. 9. 12~58. 10. 21	9	80,791

投融資審査等調査

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	関連施設整備事業融資調査	ペルー国ウアヌコ県ワジャンカ地区における銅、鉛、亜鉛開発事業に付随するインフラ施設整備事業に対する既往承諾分融資の事後調査と、追加分融資の事前調査。	50	投融資審査等調査	50. 9. 19~50. 10. 4	3	2,427
2	投融資審査等調査	アンカッシュ県における銅鉱山開発事業に関する関連施設整備に対する融資後調査の実施。	56	投融資審査等調査	56. 7. 11~56. 7. 27	3	2,761
3	投融資審査等調査	(ペルー、ブラジル) 中南米一般を参照のこと。	56	投融資審査等調査	57. 2. 23~57. 3. 12	(3)	(1,405)
4	ワンサラ鉱山開発投融資審査等調査	ワンサラ鉱山開発の関連施設に関する融資中調査 昭和62年度は、ワンサラ鉱山開発関連施設整備事業に関する融資後調査	61	投融資審査等調査	61. 10. 11~61. 10. 25	4	4,233
			62	投融資審査等調査	63. 3. 6~63. 3. 14	3	2,603

開発協力技術指導

専門家派遣

プロジェクト名	年度	人数	派遣期間	経費実績(千円)	技術指導内容
アマゾン林業開発	56	3	57. 1. 15~59. 1. 14	24,389	森林生態, 造林, 育苗
"	56	1	57. 3. 8~59. 3. 7		業務調整
"	56	2	57. 2. 1~57. 2. 28		施設設計, 林道設計
"	56	1	57. 2. 1~57. 3. 25		施設設計, 施工管理
"	56	1	57. 4. 5~59. 4. 4		造林
"	57	(1)	57. 1. 15~57. 11. 19		森林生態
"	57	(2)	57. 1. 15~59. 1. 14		造林, 育苗
"	57	(1)	57. 3. 8~58. 7. 19		業務調整
"	57	1	57. 4. 5~59. 4. 4		造林
"	57	5	57. 5. 31~57. 6. 21		79,377
"	57	1	57. 5. 31~57. 10. 29	施工管理	
"	57	1	57. 8. 23~57. 11. 22	地形測量	
"	57	2	57. 9. 17~57. 10. 29	種子生理, 更新及び育苗実験	
"	57	1	57. 10. 25~58. 2. 12	森林生態	
"	57	1	58. 2. 14~58. 2. 21	運営指導	
"	57	2	58. 3. 14~58. 3. 25	環境調査	
"	58	(1)	57. 1. 15~59. 6. 30	造林(リーダー)	
"	58	(1)	57. 1. 15~59. 1. 14	育苗	
"	58	(1)	57. 4. 5~59. 4. 4	造林	
"	58	(1)	57. 3. 8~58. 7. 19	業務調整	
"	58	1	58. 5. 30~60. 5. 29	造林	
"	58	1	58. 5. 30~60. 5. 29	96,574	森林生態
"	58	1	59. 1. 27~61. 1. 26	育苗	
"	58	2	58. 9. 9~61. 10. 10	業務調整	
"	58	1	59. 4. 6~61. 4. 5	森林生態(リーダー)	

ペ
ル
ー

ペ
ル
1

プロジェクト名	年度	人数	派遣期間	経費実績(千円)	技術指導内容
アマゾン林業開発	58	1	59. 4. 6~61. 4. 5	97,872	造林
"	58	1	58. 7. 18~58. 11. 18		施工管理
"	58	1	58. 7. 18~58. 11. 18		地形測量
"	58	1	58. 8. 1~58. 9. 9		調査研究
"	58	1	58. 8. 1~58. 9. 9		種子生産貯蔵
"	58	1	58. 8. 1~58. 10. 31		土壌
"	58	1	58. 8. 1~58. 10. 31		森林生態
"	58	1	59. 2. 20~59. 3. 19		林業機械
"	58	2	59. 4. 6~59. 5. 4		調査研究
"	59	(1)	57. 1. 15~59. 6. 30		造林(リーダー)
"	59	1	59. 4. 6~61. 4. 5		森林生態(リーダー)
"	59	(1)	58. 5. 30~60. 5. 29		森林生態
"	59	(1)	57. 4. 5~59. 4. 4		造林
"	59	(1)	58. 5. 30~60. 5. 29		造林
"	59	1	59. 4. 6~61. 4. 5		造林
"	59	(1)	59. 1. 27~61. 1. 26		育苗
"	59	2	59. 9. 9~61. 10. 10		業務調整
"	59	1	59. 6. 11~59. 10. 12		施工管理
"	59	1	59. 6. 11~59. 10. 12		地形測量
"	59	1	59. 7. 20~59. 10. 12		生態
"	59	1	59. 7. 20~59. 10. 12		土壌
"	59	1	59. 10. 13~59. 11. 2		調査研究
"	59	1	59. 10. 13~59. 11. 9		虫害調査
"	60	(1)	59. 4. 6~61. 6. 29		リーダー・森林生態
"	60	(1)	58. 5. 30~60. 5. 29	造林	
"	60	(1)	58. 5. 30~60. 5. 29	森林生態	

プロジェクト名	年度	人数	派遣期間	経費実績(千円)	技術指導内容
アマゾン林業開発	60	(1)	59. 1.27~61. 1.26	109,307	育苗
"	60	(1)	59. 4. 6~60.10.25		造林
"	60	(1)	58. 9. 9~61.10.10		業務調整
"	60	(1)	58. 9. 9~61.10.10		業務調整
"	60	1	60. 5.17~61.10.10		造林
"	60	1	60. 5.17~61.10.10		森林生態
"	60	1	61. 1.15~62. 1.14		育苗
"	60	1	61. 1.15~62. 1.14		造林
"	60	1	60. 5.17~60. 6.14		森林病虫害調査
"	60	1	60. 6.16~60.10.17		施工管理
"	60	1	60. 9.15~60.11.12		森林病虫害調査
"	60	1	60. 9.15~60.11.12		森林病虫害調査
"	60	1	60.11.22~60.12.23		造林
"	61	(1)	59. 4. 6~61. 6.29		リーダー・森林生態
"	61	(1)	60. 5.17~62. 5.16		造林
"	61	(1)	60. 5.17~62. 5.16		森林生態
"	61	(1)	61. 1.15~63. 1.14		育苗
"	61	(1)	61. 1.15~63. 1.14		造林
"	61	(1)	58. 9. 9~63.10.10		業務調整
"	61	(1)	58. 9. 9~63.10.10	業務調整	
"	61	1	61. 4. 8~61. 4.28	79,971 調査研究	
"	61	1	61. 4. 8~61. 6. 7	(うち携行機材費 4,872) 調査研究	
"	61	1	61. 4. 8~61. 5.23	森林病虫害	
"	61	1	61. 5.18~63. 5.17	リーダー	
"	61	1	61. 8. 3~61. 9.26	森林病虫害	
"	61	1	62. 1.18~62. 3.10	森林病虫害	

ペ
ル
1

プロジェクト名	年度	人数	派遣期間	経費実績(千円)	技術指導内容
アマゾン林業開発	61	1	62. 1. 18~62. 3. 10	68,608 (うち携行機材費 3,856)	森林病虫害
"	61	1	62. 2. 22~62. 3. 20		土壌
"	61	1	62. 2. 22~62. 3. 20		土壌細区分
"	62	(1)	58. 9. 9~63. 10. 10		業務調整
"	62	(1)	60. 5. 17~62. 5. 16		造林
"	62	(1)	60. 5. 17~62. 5. 16		森林生態
"	62	(1)	61. 1. 15~63. 3. 14		育苗
"	62	(1)	61. 1. 15~63. 1. 14		造林
"	62	(1)	61. 5. 18~元. 5. 17		リーダー
"	62	1	62. 5. 3~元. 5. 2		68,608 森林生態
"	62	2	62. 6. 21~62. 8. 21		(うち携行機材費 3,856) 森林病虫害
"	62	1	62. 8. 9~62. 10. 7		林道設計
"	62	1	62. 8. 16~元. 8. 15		造林
"	62	1	62. 10. 18~62. 12. 25		森林病虫害
"	62	1	63. 1. 10~2. 1. 9		造林
"	62	1	63. 3. 6~2. 3. 5		育苗
"	62	1	62. 4. 5~62. 4. 21		調査研究
"	63	1	58. 9. 9~63. 12. 10		業務調整
"	63	1	61. 5. 18~元. 5. 17		リーダー
"	63	1	62. 5. 3~元. 5. 2		森林生態
"	63	1	62. 8. 16~元. 8. 15	56,609 造林	
"	63	1	63. 1. 10~2. 1. 9	(うち機材供与費 432) 造林	
"	63	1	63. 3. 6~2. 3. 5	育苗	
"	63	1	63. 7. 11~元. 7. 10	森林病虫害	
"	63	1	63. 11. 7~2. 11. 6	業務調整	
"	63	1	63. 6. 27~63. 7. 8	調査研究	

プロジェクト名	年度	人数	派遣期間	経費実績(千円)	技術指導内容
アマゾン林業開発	元	1	61. 5. 18~元. 5. 17	}	リーダー
"	元	1	62. 5. 3~元. 5. 2		森林生態
"	元	1	62. 8. 16~ 2. 3. 31		造林
"	元	1	63. 1. 10~ 2. 3. 31		造林
"	元	1	63. 3. 6~ 2. 3. 5		育苗
"	元	1	63. 7. 11~元. 7. 10		森林病虫害
"	元	1	63. 11. 7~ 2. 5. 7		業務調整
"	元	1	元. 6. 26~元. 9. 22	データ解析	
"	2	1	63. 11. 7~ 2. 5. 7	4,553	業務調整

(注) カッコは継続派遣専門家

研修員受入

研修科目	年度	人数	研修期間	研修場所	経費実績(千円)
造林・森林生態	57	1	57. 11. 4~57. 12. 15	}	5,581
造林研究	57	1	57. 12. 2~57. 12. 20		
林業苗畑	58	2	58. 5. 16~58. 9. 16	} 農林水産省林業試験場関東材木 育種場	14,834
林業事情視察	58	1	58. 9. 20~58. 10. 20		
樹木学、樹木生理	58	1	58. 9. 20~58. 12. 16		
林造・種苗	59	2	59. 7. 7~59. 10. 4	海外林業コンサルタンツ協会	17,700
造林・林道	59	1	59. 9. 26~59. 12. 18	"	
高級	59	1	60. 3. 13~60. 3. 23	"	12,002
造林	60	1	60. 6. 20~60. 9. 19	"	
育苗	60	1	60. 6. 20~60. 9. 19	"	
林業一般	60	1	60. 10. 9~60. 10. 21	"	14,748
森林・林業政策	61	1	61. 5. 26~61. 6. 7	"	
森林・林業政策	61	1	61. 8. 13~61. 8. 31	"	

研 修 科 目	年 度	人 数	研 修 期 間	研 修 場 所	経費実績(千円)
森林・林業政策	61	1	61. 8. 13~61. 8. 31	”	}
森林昆虫生態	61	1	61. 7. 3~61. 10. 2	”	
林業一般	62	1	62. 9. 9~62. 9. 27		
林木育種	62	1	62. 9. 9~62. 11. 10		
林業視察	62	1	63. 3. 14~63. 3. 27		
造林	63	2	63. 8. 25~63. 11. 2		9, 107
林業視察	元	1	元 7. 16~元 7. 28		}
造林	元	1	元 9. 29~元 12. 20		
森林生態	元	1	元 9. 29~元 12. 20		
					6, 652
					10, 613

〔開発投融資〕

融資承諾 年月	事業名	事業地	対象事業	貸付条件・承諾額・契約額					貸付実行額		備 考
				金利 (%)	返済期間 (内据置年)	承諾額 (百万円)	契約年月	契約額 (百万円)	年 度	実行額 (百万円)	
48. 11. 7	ワンサラ銅鉱山開発事業	アンカッシュ	道路	0. 75	11(2)	196	49. 7. 8	196	(海外資)	28. 5	
										50	
										108. 5	
50. 10. 30	ワンサラ銅鉱山開発事業	アンカッシュ	道路	0. 75	12(2)	192. 8	51. 6. 10	192. 8	51	134. 65	
60. 3. 15	ワンサラ銅鉱山開発事業	アンカッシュ	水力発電所	0. 75	20(3)	170	60. 8. 20	290	60	257	

〔災害援助等協力事業〕

専門家派遣

年度	災 害 名	期 間	人 数	経 費 実 績 (千円)
61	救援システム等実態調査	61. 6. 25~61. 7. 11	(6)	2, 032
62	備蓄基地調査	63. 2. 29~63. 3. 13	1	}
62	備蓄基地調査	63. 3. 16~63. 3. 31	(1)	
				966

国際緊急援助隊派遣

年度	災害区分	災害発生時期	災害の規模	派遣の目的	派遣期間	チームの構成	救援物資	所要経費 (千円)
2	コレラ	1月31日～	死者 609人 罹病者数 97,115人 入院患者数 31,205人	2次にわたり援助物資の供与を実施 (供与時期 2月)			医薬品, 医療資材	32,247
2	地震	5月29日	死者 190人 行方不明者 272人 負傷者 706人	① 被災状況の把握 ② 援助物資の供与 ③ 被災国側状況調査	6月6日～14日	業務調整員 1名	医薬品, 医療資材, テント	18,153
3	コレラ	平成3年1月31日～	死者 約1,200人 罹病者数 約167,000人 入院患者数 約63,000人		物資供与時期(3次援助) 平成3年4月		医療資材	34,630
3	地震	平成3年4月4日	死者 30人 負傷者 約400人		物資供与時期 平成3年4月		医薬品, 医療資材, 毛布, テント	13,367

ペ
ル
ト

プエルト・リコ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	年度	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経費 (千円)	人数 (人)														
研 修 員										982	1					982	1
専 門 家		934	1													934	1
調 査 団																	
協 力 隊																	
機 材 供 与																	
そ の 他		115														115	
合 計		1,049	1							982	1					2,031	2

(2) 形態別・分野別

形態	分 野	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱工業		エ ン ー ル ー ギ ー		商 業 ・ 観 光		人 的 資 源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	通 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ン ー ル ー ギ ー 1	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化						
研 修 員		1																						982	
専 門 家		1																			1			934	
調 査 団																									
協 力 隊																									
機 材 供 与																									
そ の 他																									115
合 計		2																			1			2,031	

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
元年度	1									1												982
合計	1									1												982

プエルト・リコ

[プロジェクト方式技術協力]

保健医療協力事業(大学教授)

プ
エ
ル
ト
・
リ
コ

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
疫 学		52					1	934			934	

セント・クリストファー・ネイヴィース

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 及び 形態	年度	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)														
研 修 員						4,270	2	4,335	1	5,992	2					14,597	5
専 門 家																	
調 査 団																	
協 力 隊																	
機 材 供 与						4,889		7,674								12,563	
そ の 他																	
合 計						9,159	2	12,009	1	5,992	2					27,160	5

セント・クリストファー・ネイヴィース

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱工業		エ ネ ル ギ 1	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)		
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化						
研 修 員	5	1		1				1															14,597	
専 門 家																								
調 査 団																								
協 力 隊																								
機 材 供 与																								12,563
そ の 他																								
合 計	5	1		1				1																27,160

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
62年度	2	1						1														4,270
63 "	1										1											4,335
元 "	2			1							1											5,992
合計	5	1		1				1			2											14,597

セント・クリストファー・ネイビス

[一般の技術協力に係る機材供与]

単独機材供与事業

No	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機 材 供 与 経 費 (千円)
1	病院用機材	国立病院	62	4,889
2	医療用機材	保健省	63	7,674
計	2 件			12,563

セント・クリストファー・ネイビス

セント・ルシア

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)														
研 修 員	11,355	5	3,990	2	1,207	1	4,979	2	1,658	1	7,686	4	5,932	2	36,807	17
専 門 家													17,722	1	17,722	1
調 査 団			7,666	5	9,817				2,581	2	2,462				22,526	7
協 力 隊																
機 材 供 与	9,119						1,511						875		11,505	
そ の 他			825												825	
合 計	20,474	5	12,481	7	11,024	1	6,490	2	4,239	3	10,148	4	24,529	3	89,385	25

(2) 形態別・分野別

形 態	分 野 人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員	17		9	1				1			1		1			1	1		1	1			36,807
専 門 家	1																						17,722
調 査 団	7																					2	22,526
協 力 隊																							
機 材 供 与																							11,505
そ の 他																							825
合 計	25		9	1				1			7		1			1	1		1	1	2		89,385

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
58年度	1																1					1,650
59 "	3		1					1														8,161
60 "	1																			1		1,544
61 "	2		1														1					3,990
62 "	1		1																			1,207
63 "	2		2																			4,979
元 "	1												1									1,658
2 "	4		3	1																		7,686
3 "	2		1																	1		5,932
合計	17		9	1				1					1				1			1	1	36,807

セント・ルシア

専門家派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
3年度	1																					18,149
合計	1																					18,149

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

No	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機材供与経費 (千円)	
				機材	経費
1	観光振興用機材	政府観光省	63		1,511
計	1 件				1,511

セント・ルシア

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業（特別機材供与）

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
カストリーズ保健所		57							救急車 (3台)	9,119	9,119	

〔援助効率促進事業〕

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	終了時評価調査		元				948

〔無償資金協力〕

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金 額 (億円)	調査 年度	調査種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経 費 実 績 (千円)
1	漁業開発計画	漁業生産性に比し流通部門が立ち遅れているため、漁獲物流通用機器の供与及び漁獲物水揚げ施設の建設。	63. 2. 9	2.90	61	基本設計（木）	62. 3. 29～62. 4. 20	5	7,666
			63. 8. 19	3.60	62	基本設計			
					"	実施促進	63. 3. 4～63. 3. 19	(1)	
					元	"	元. 7. 29～元. 8. 7	2	1,633
				2	フォローアップ	3. 4. 7～3. 4. 22	(5)	2,462	

セント・ヴィンセント・グレナディーン

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 及び人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)														
研 修 員		6,180	2			4,405	1	6,573	2	6,094	2	6,418	2	11,183	3	40,853	12
専 門 家										3,481	1	483				3,964	1
調 査 団				12,489	5	17,582	5			1,545						31,616	10
協 力 隊																	
機 材 供 与		5,893		6,918				9,585								22,396	
そ の 他				825		1,042										1,867	
合 計		12,073	2	20,232	5	23,029	6	16,158	2	11,120	3	6,901	2	11,183	3	100,696	23

セント・ヴィンセント・グレナディーン

(2) 形態別・分野別

形 態	分 野	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ネ ル ギ 1	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源				
研 修 員		12						1	4			5					1			1		40,853
専 門 家		1										1										3,964
調 査 団		10										10										31,616
協 力 隊																						
機 材 供 与																						22,396
そ の 他																						1,867
合 計		23						1	4			16					1			1		100,696

2. 事業別実績

[一般の技術協力]

研修員受入事業

分野	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
59年度	1							1														2,709
60 "	1																					3,471
61 "																						
62 "	1																					4,405
63 "	2															1						6,573
元 "	2						1															6,094
2 "	2							2														6,418
3 "	3							1													1	11,183
合 計	12						1	4								1					1	40,853

専門家派遣事業

分野	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
元年度	1																					3,481
2 "																						483
合 計	1																					3,964

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

No	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機 材 供 与 経 費 (千円)
1	医療用機材	保健省	58	5,893
2	救急車	教育保健省	61	6,918
3	漁船用機材	商工・農業省	63	9,250
計	3 件			22,061

セント・ヴィンセント・グレナディーン

〔援助効率促進事業〕

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	キングスタウン魚市場 建設計画		元	案件別 評価調査	元. 11. 27～元. 12. 11	3	948

〔無償資金協力〕

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金 額 (億円)	調査 年度	調査種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経 費 実 績 (千円)
1	キングスタウン港食品市場 建設計画	首都キングスタウンを農水産物の流通基地とする構想のもとに食品市場、小店舗群の建設。	62. 11. 3	2.92	61	基本設計(本)	62. 3. 29～62. 4. 21	5	12,489
			63. 8. 16	3.51	62	" (報)	62. 7. 6～62. 7. 18	5	17,582
2	漁業開発計画	セント・ヴィンセント・グレナディーンでは農業が主要産業であるが、産業の多様化を目指し、漁業開発と観光開発を経済開発の柱としている。特に漁業開発は漁民の生活向上、国民の動物性たんぱく質の確保といった点からも急務となっているが、漁船・漁具等の機材不足の為漁獲量は極くわずかであり、資源の有効利用ができない状況である。この為同国政府は、「漁業開発計画」を策定。こ	3. 5. 21	2.73					

セント・ヴィンセント・グレナディーン

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		れに必要な資金の供与。							

スリナム

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費及び形態	27~60		61		62		63		元		2		3		累計	
	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)
研修員	5,012	2	7,052	2	7,584	1	3,741	1	3,671		2,391	1			29,451	7
専門家	125,980	6													125,980	6
調査団									39,607	15					39,607	15
協力隊																
機材供与	1,814														1,814	
その他	728														728	
合計	133,534	8	7,052	2	7,584	1	3,741	1	43,278	15	2,391	1			197,580	28

スリナム

(2) 形態別・分野別

分野 形態	人数計(人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計(千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	7				1	1					5											29,451
専門家	6										6											125,980
調査団	15										15											39,607
協力隊																						
機材供与																						1,814
その他																						728
合計	28				1	1					26											197,580

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 スリナム	合 計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
50年度	1										1											2,737
60 "	1										1											2,275
61 "	2										2											7,052
62 "	1				1																	7,584
63 "	1										1											3,741
元 "																						3,671
2 "	1					1																2,391
合 計	7				1	1					5											29,451

専門家派遣事業

分野	合 計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
52年度	6										6											59,559
53 "																						56,696
54 "																						11,539
合 計	6										6											127,794

〔無償資金協力〕

No.	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	東スリナム・コムウェイナ 地区小規模漁業近代化計画	漁業の活性化及び地方の振興を目的とし て、漁業基盤施設を整備した漁業基地を設立 することにより、小規模漁業の近代化を図る 計画。	2. 9. 12	5.56	元	基本設計（本）	元 8. 27～元. 10. 1	10	} 39,607
			3. 9. 2	5.02	”	”（報）	2. 1. 14～ 2. 1. 25	5	

スリナム

トリニダード・トバゴ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	年度	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
		経 費 (千円)	人 数 (人)														
研 修 員		40,331	(3) 21	4,497	1	11,958	3	10,746	3	24,359	9	22,330	6	5,233	1	119,454	(3) 44
専 門 家		105,172	8	2,287	2	11,054	1	16,451		30,372	2	45,034	1	5,985		216,355	14
調 査 団		25,066	15	405						131,509	16	103,908	13	18,792	7	279,680	51
協 力 隊																	
機 材 供 与		22,479				2,234		5,462		10,905		9,304		20,484		70,868	
そ の 他		558		331		208		283								1,380	
合 計		193,606	(3) 44	7,520	3	25,454	4	32,942	3	197,145	27	180,576	20	50,494	8	687,737	(3) 109

※ カッコは国際機関で外数である。

(2) 形態別・分野別

形態	分 野	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員		(3) 44		6		(2) 2		6	14			3		8		(1) 3		1		1			119,454
専 門 家		14							12					2									216,355
調 査 団		51			36				15														279,680
協 力 隊																							
機 材 供 与																							70,868
そ の 他																							1,380
合 計		(3) 109		6	36	(2) 2		6	41			3		10		(1) 3		1		1			687,737

※ カッコは国際機関で外数である。

2. 事業別実績

[一般の技術協力]

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)		
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化						
41年度	1															1							576	
42 "																								
43 "																								
44 "	(1)				(1)																			
45 "	1											1											1,416	
46 "	(1)				(1)												1						952	
47 "	(1)																(1)						135	
48 "																								
49 "	1										1												682	
50 "	2										2												3,352	
51 "	1										1												1,403	
52 "	2										1												2,830	
53 "	3										1												8,502	
54 "	3					1					1												9,036	
55 "	2																						4,269	
56 "	2																						3,617	
57 "	1																						1,141	
58 "																								
59 "																								
60 "	1																						2,411	
61 "	1																						4,497	
62 "	3																						11,958	

トリニダッド・トバゴ

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
63年度	3		1					1					1									10,746
元 "	9		2					3			1		3									24,359
2 "	6		2		1			2											1			22,330
3 "	1							1														5,233
合計	(3)44		6		(2)2		6	14			3		8		(1)3		1		1			119,454

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
40年度	1												1									} 8,394
41 "	1							1														
42 "																						
43 "																						4,227
44 "	1							1														4,935
45 "																						4,712
46 "																						2,399
47 "	1							1														5,095
48 "																						7,537
49 "	2							2														12,710

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運輸 交通	社会 基盤	通信・ 放送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業・ 貿易	観 光	人 的 資 源	科 学・ 文 化				
50年度																						11,302
51 "	1							1														15,181
52 "	1							1														13,751
53 "																						18,456
54 "																						10,749
55 "																						
56 "																						
57 "																						
58 "																						
59 "																						
60 "																						
61 "	2							2														2,692
62 "	1							1														13,288
63 "																						21,913
元 "	2							2														34,479
2 "	1												1									52,312
3 "																						5,985
合計	14							12					2									250,117

トリニダッド・トバゴ

[一般の技術協力に係る機材供与]

単独機材供与事業

トリニダッド・トバゴ	No	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機 材 供 与 経 費 (千円)
	1	灌漑排水用機材	農業省	50	8,176
	2	灌漑排水用機材部品	"	50	27
	3	稲作農業開発用機材	"	元	6,798
計	3 件				15,001

[プロジェクト方式技術協力]

保健医療協力事業 (特別機材供与)

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
感染症		3							冷蔵庫、三種混合ワクチン	20,484	20,484	

[開発調査方式技術協力]

開発調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	ナリバ地域干拓計画調査	同国は湿地帯が多く、耕作適地が少ないので食糧の大半を輸入にたよっている。このため同島東部湿地帯の干拓による4万エーカーの農地造成計画について開発の可能性の検討。	41	投	41. 9. 6~41. 10. 15	3	3,929
			43	投	44. 3. 10~44. 3. 31	11	7,966
			44	投	44. 4. 1~44. 5. 2	(11)	(11,569)
			45	投	45. 9. 14~45. 9. 28	1	712
2	経済技術協力調査 (プロジェクト・ファインディング)	中南米一般を参照のこと。 (バルバドス、トリニダッド・トバゴ)	60	形成基礎	60. 12. 5~60. 12. 13	(2)	(890)
3	トリニダッド・トバゴ 水管理計画調査	トリニダッド・トバゴ全域(5,128km ²)を対象とした上水道水管理計画に係るマスタープランを策定するとともに、既存の水管理システムの整備拡充に関するフィー	元	事前調査	元. 5. 21~元. 6. 7	5	131,509
			"	実施調査	元. 10. 6~ 2. 1. 18	11	

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
		ジビリティ調査を実施するものである。 平成元年度は事前調査を実施し実施細則を締結するとともに、本格調査を開始し、業務進捗状況報告書(1)を提出した。 平成2年度は元年度に引き続き本格調査を実施し、業務進捗状況報告書(2)までを作成した。 平成3年度は2年度に引き続き本格調査を実施し、最終報告書(案)まで作成した。	2	実施調査	2. 7. 1~ 2. 9. 29	7	103,908
			3	"	3. 6. 17~ 3. 6. 30	7	18,792

トリニダッド・トバゴ

ウルグァイ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	年度	27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
	経費及び人数	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)	経費(千円)	人数(人)
研 修 員		287,078	143	49,020	26	61,281	31	89,694	36	120,851	49	108,484	44	102,621	48	819,029	377
専 門 家		481,645	65	34,467	9	87,003	10	158,597	18	117,719	21	149,717	23	194,284	18	1,223,432	164
調 査 団		272,752	107	93,951	20	31,428	11	85,237	18	236,802	62	134,089	33	184,968	34	1,039,227	285
移 住 者		544	46													544	46
機 材 供 与		736,762		20,237		99,366		161,958		162,353		82,617		235,146		1,498,439	
そ の 他		30,606		6,540		4,377		5,213		460		4,300				51,496	
合 計		1,809,387	361	204,215	55	283,455	52	500,699	72	638,185	132	479,207	100	717,019	100	4,632,167	872

(2) 形態別・分野別

形態	分野	人数累計(人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費累計(千円)
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信放送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商業・貿易	観 光	人的資源	科学・文化				
研 修 員		377	2	29	2	7	6	39	43	27	12	20		44	1	13	1	4	1	112	14		819,029
専 門 家		164	1			7		2	50	8	6	1	1	30				3		55			1,223,432
調 査 団		285				47			53		62			100						21		2	1,039,227
移 住 者		46							1													45	544
機 材 供 与																							1,498,439
そ の 他																							51,496
合 計		872	3	29	2	61	6	41	147	35	80	21	1	174	1	13	1	7	1	188	14	47	4,632,167

2. 事業別実績

(一般の技術協力)

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
39年度	1				1																	657
40 "	1				1																	697
41 "	1						1															643
42 "																						
43 "	1				1																	944
44 "																						
45 "	2						1												1			1,668
46 "	2				1													1				1,971
47 "	3						1							1		1						2,886
48 "	2						1												1			2,966
49 "	3						2				1											4,626
50 "	2						1						1									2,426
51 "	6						3		1						1				1			10,044
52 "	10		3				2	1	1		1								2			16,293
53 "	10		2				3								1		1		3			21,587
54 "	14		2				1	5			2		1						3			23,191
55 "	13						1	6	1				2						3			25,061
56 "	8							3											5			23,175
57 "	13						1	5			1		3						3			33,692
58 "	12					1	1	2	1				2		1				4			27,250
59 "	17		1			1	1				1		3		2				8			43,665
60 "	20	1	1	1			1				2		2		1				11			39,319

ウ
ル
グ
ア
イ

ウ ル グ ア イ	分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業		工 業	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源					科 学 ・ 文 化
	61年度	25				1	6	2	2	2	1				1				10			42,836	
	62 "	30		1			4	3	4		1		1		1				12	2		56,031	
	63 "	34	1	4	1		2	4	4		2				1				10	4		78,044	
	元 "	45		1		2	2	2	7	4	3		9						11	4		109,635	
	2 "	43		5			2	3	3	4	2		7		1				13	2		103,922	
	3 "	46		8			2	4	3	2	3		10		2				9	2		94,608	
	合 計	364	2	28	2	7	6	39	40	27	12	20	41	1	12	1	1		111	14		767,837	

専門家派遣事業

ウ ル グ ア イ	分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)	
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業		工 業	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源					科 学 ・ 文 化
	41年度																					207	
	42 "	2					2															3,011	
	43 "																						
	44 "																						
	45 "																						
	46 "																						
	47 "																						
	48 "																						

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
49年度																						
50 "																						
51 "																						
52 "	1													1								2,510
53 "	2													1								8,123
54 "	4				1																	12,442
55 "	2				4									2								10,786
56 "																						2,992
57 "																						2,936
58 "	2							1	1													9,747
59 "																						
60 "	1							1														3,381
61 "	1								1													5,243
62 "	1													1								24,006
63 "	4				2				1	1												53,453
元 "	6									2	1			2				1				56,110
2 "	6								3	1			1	1								57,644
3 "	7								2	2				1				2				106,129
合 計	39				7		2	2	8	6	1	1	9					3				358,770

ウ
ル
グ
ア
イ

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

ウ ル グ ァ イ	No.	機 材 名	機 材 供 与 先	機 材 供 与 経 費 (千円)	
				年 度	機 材 供 与 経 費 (千円)
	1	消化器研究機材 (同上47年度支出分)	消化器がんセンター	46	3,196
				47	104
	2	植物香料エキス研究用機材 (同上52年度支出分)	ウルグァイ共和国大学化学部	51	8,530
				52	885
	3	医療関係機材	国立バストゥール総合病院	54	24,361
	4	空中窒素固定法研究用機材	企画調整情報庁	57	29,394
	5	植物香料エキス研究用機材部品	ウルグァイ共和国大学化学部	59	2,090
	6	医療機材部品	国立バストゥール総合病院	59	1,774
	7	家畜人工授精用機材	予算企画庁共和国大学獣医学部	元	19,329
	計	7 件			89,663

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継 続	新 規				
消化器病センター Gastroenterology 協定等の種類：R/D 署名年月日：59. 1. 12 協力期間： (当初) 59. 4. 1～ 元. 3. 31 (F/U) 元. 4. 1～ 2. 3. 31 (F/U) 2. 4. 1～	ウルグァイ国の死因別死亡率においては消化器病疾患の率が著しく高く、ウ国唯一の大学である共和国大学医学部では附属病院内に総合的消化器病センターの創設を計画し、これを遂行するための技術協力をわが国に要請して来た。本プロジェクトは、共和国大学医学部附属病院内に消化器内科（内視鏡学）を中心として、放射線医学、病理学、臨床検査等関連分野を統合した消化器病センターを設	58	事前調査	58. 7. 28～ 58. 8. 7	5	② 573 7,405					15,074	
		"	実施調査	59. 1. 6～ 59. 1. 16	5	② 2 7,094						
		59	事前、実施調査報告書作成				② ④	104 530	7	9,782	④ 1,604 92,875	104,904
		60						141		5,912	④ 1,944 65,274	73,271
		61	計画打合	61. 4. 19～ 61. 4. 27	5		6,535		5	7,588		14,123
		62						182	4	5,262		49,313

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
2. 12. 31 相手国機関：共和国大 学医学部付属病院 国内協力機関：順天堂 大学他	立し、消化器病診断のレベルアップをは かるとともに、専門医の教育、養成を通 して全国的診療体制の改善に寄与する。 ウルグァイ側は昭和59年8月に病院の 改修工事を完了し、8月9日消化器病セ ンター (Centro de BstudioIntegral de las Enfermedades Digestivas)開所式を 行っている。主要な機材を2年間で供与 し終え、短期専門家チームに技術移転を 行っている。 (カウンターパート受入実績)	63				2,229		9	24,112	超音波診断装 置、写真顕微 鏡、自動染色 装置	39,279	65,620
		元				3,690	1	12	17,655	内視鏡ビデオ システム、内 視鏡テレビビ デオセット、 自動分析装置、 冷却用小型遠 心機、ラミナ ーフローキャ ビネット	35,664	57,009
		2				6,812		7	9,920	AVシステム、 ガラスバット	25,286	42,018

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
マイクロ・サージェリ	(ブラジル、ウルグァイ) 中南米一般を参照のこと。	55					(2)	(1,412)		⑧ (1,135)	(2,547)	
糖尿病神経症		59					2	4,129		⑧ 1,687	5,816	
		60					2			⑧ 56	56	
		62						2	4,698			4,698

ウルグアイ

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
口腔外科		63						1	1,367		1,367	
肺ガン診療治療		3						1	1,016		1,016	

保健医療協力事業（特別機材供与）

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
国立ベドロ・ヴィスカ 小児病院		59								人口透析装置 他	53,556	53,556
セントボイス病院		元								内視鏡 手術用レーザー 装置	47,698	47,698
		2						1	1,246	輸送費、OE S気管支ファイ バースコー プ	8,889	10,135

農林水産協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
野菜研究協力 The Japan-Uruguay Vegetable Cooperati- on Project	本件プロジェクトはウルグアイ国の農 業政策としてとり上げられているところ の①肉食偏重からビタミン食料である野 菜の生産と消費の増大 ②野菜種子の輸 入依存から自国内生産への切替えによる 外貨流出防止 ③集約作物たる野菜栽培 の普及により農業就業機会の増大等を図	51	事前調査	51. 11. 28～ 51. 12. 17	5	6,456					6,456	
52		実施協議	53. 2. 20～ 53. 3. 12	5	5,615						5,615	
53						④ 1,564						
協定等の種類：R/D 署名年月日：53. 7. 19 協力期間：							58	8	33,717	車輛、農業機 械	④ 2,709 20,187	58,235

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)													
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)												
							継続	新規																
(当初) 53. 7. 19 ~ 56. 7. 18 (延長) 56. 7. 19 ~ 58. 7. 18	<p>るため技術蓄積のあるわが国に協力を要請してきたものである。</p> <p>わが国は、この実情を考慮し、本件協力をを行うこととし、ウルグアイの首都、モンテビデオ近郊にあるLas Brajos試験場を中心として野菜、および馬鈴薯の育種、栽培、病害虫に関する基礎的研究ならびにLitoras Norte 試験場、Del Norte試験場での実用栽培試験を行うものである。</p> <p>なお、昭和56年3月に実施されたエバリュエーションの結果、協力期間が2カ年延長された。</p> <p>昭和57年度は協力の最終段階に向けての技術指導を実施するとともに、電子顕微鏡の供与を行ったほか、カウンターパート4名の受入れを行った。</p> <p>昭和58年4月、エバリュエーションの結果、当初目標は概ね達成され、馬鈴薯の原種生産体制の整備等の成果をもたらした。協力を終了した。</p> <p>[カウンターパート受入実績]</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </table>	年度	54	55	56	57	58	人数	5	5	2	4	2	54	実施設計	54. 5. 6~ 54. 5. 25	5	Ⓔ 88 6,587	5	3	45,691	圃場作業用機材、実験機器	Ⓔ 1,420 59,790	} (3,301) 113,576
		年度	54	55	56	57	58																	
		人数	5	5	2	4	2																	
		"	巡回指導	55. 3. 25~ 55. 4. 22	(6)	(3,301)																		
		55	過年度精算				(12)						} (12) 103,658											
		"	エバリュエーション	56. 3. 26~ 56. 4. 14	5	6,645	4	6	52,169	実験研究用機器、農業施設、薬品	Ⓔ 1,611 43,233													
		56	同上 報告書作成			Ⓔ 547							} 86,274											
		"	計画打合	56. 7. 9~ 56. 7. 27	2	2,418	5	3	43,795	電子顕微鏡、実験研究機材	Ⓔ 1,704 37,810													
		57	エバリュエーション	58. 4. 8~ 58. 4. 27		5,835	4	5	54,321	実験研究機材、農業機械	Ⓔ 2,464 59,407		122,027											
		58	同上 報告書作成			Ⓔ 388	3	1	23,256	実験用機器、車輛、農業機械	Ⓔ 1,339 9,496		} 34,881											
"				Ⓔ 402																				
62	アフターケア	62. 11. 3~ 62. 11. 19	4	5,570						4,545	10,115													
63	"			29		1	2,526	車輛、定温器、トラクター用パーツ、耕運機、複写機、マイクロバス		31,743	34,298													

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)		
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)	
							継続	新規					
果樹研究計画 The Fruit-Trees Research Project 協定等の種類：R/D 署名年月日：61.7.28 協力期間：(当初) (R/D) 61.7.28～ 4.7.27 (延長) 3.7.28～ 5.7.27 相手国機関： 農牧水産省、農牧政 策計画局 ラスプルハス園芸試 験場 サルト柑橘園芸試験 場 国内協力機関： 農林水産省	ウルグァイの落葉果樹の約80%は中小規模農家により行われている。農牧水産省としては、これらの農家の営農を安定させるとともに雇傭の増大と輸出市場の開拓を行うべく国立の園芸試験場での研究活動等を通じ栽培改善に努めてきた。しかし当国に適合した技術開発に遅れをきたしている為、本分野にたけており、またすでに終了した野菜プロジェクトで高い成果を残した我が国にプロジェクト方式による技術協力を要請して来た。このような背景のもとに、わが国は、果樹栽培の生産性向上及び品質改善を図るため、研究協力の枠組みを調査する調査団を派遣し、下記の調査・研究協力活動を行うこととした。 A. ラスプルハス園芸試験場において落葉果樹の調査、研究活動を強化し、もってウルグァイの果樹生産に貢献する。 B. この為、ぶどう(於ラスプルハス園芸試験場、サルト柑橘園芸試験場)、りんご、なし、もも(於ラスプルハス園芸試験場)について次の調査、研究	60	事前調査	61. 1. 19～ 61. 2. 2	4	4,938						4,938	
		61	実施協議	61. 7. 18～ 61. 8. 1	4	6,018		3	17,198	車輛、事務機器、圃場用作業機器	19,414		42,630
		62	実施設計	62. 8. 7～ 62. 8. 23	3	22,166		3	54,627	トラクター		43,190	119,983
		"	計画打合	62. 8. 7～ 62. 8. 23	4		2						
		63				403	3	3	93,361	蒸留水製造装置、カーベットスプレー	69,478		163,242
		元	巡回指導	元 9. 9～ 元 9. 20	4	6,362	3	2	53,585	ワゴン車、プレハブ冷蔵庫、原子吸光分光光度計用交換部品	26,924		86,871
		2	巡回指導	2. 10. 29～ 2. 11. 13	4	6,402	4	5	82,132	動物飼料装置、フォークリフト、微気象観測装置、ステーションワゴン	40,558		129,092
		3				898	5	7	91,702	ガラス温室、マイクロコンピュータ、かん水ポンプ	12,661		105,261

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)														
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)													
							継続	新規																	
	<p>活動を行う。</p> <p>1. 調査・研究活動</p> <p>1) 品種改善 2) 果樹栽培 3) 土壌栄養 4) 作物保護 5) 収穫、貯蔵</p> <p>2. 1. で述べた分野における必要な情報、研究の材料、データ、報告の交換。</p> <p>昭和63年度にはモデルインフラ整備事業により、組織培養施設、ガラス温室を建設した。また、病虫害・病理分野について短期専門家を3人派遣し、3人の研修員受入、約6,500万円の機材供与を実施した。</p> <p>プロジェクト当初の37課題のうち、延長後の課題として15課題を選び、目標達成に向け、協力を実施している。</p> <p>[カウンターパート受入実績]</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>61</td> <td>62</td> <td>63</td> <td>元</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table>	年度	61	62	63	元	2	3	人数	2	3	2	4	3	3										
年度	61	62	63	元	2	3																			
人数	2	3	2	4	3	3																			
<p>林木育種計画</p> <p>R/D等署名日： 4.12.15</p> <p>協力期間：</p>	<p>(要請の背景)</p> <p>ウルグアイはこれまで農牧業の振興を重点政策としてきたため、林業の歴史は浅く、森林率も国土面積の5%以下と極</p>	3	事前調査	4. 3.14~ 4. 3.29	4	4,804						4,804													

ウルグァイ

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
(R/D) 5.3.10～ 10.3.9 所在地：タクアレポー市 先方関係機関：国立農 牧研究所 (Instituto Nacional de Investigacion Agropecuaria) 我が方協力機関： 農林水産省林野庁	<p>端に低い。近年民間企業が大規模な人工林造成を進めているが、優良人工林造成に不可欠な林木育種は進んでおらず、採取園も有していない。このため、今後優良主旨の需要増大に対応するため、ウルグァイ政府は早急に体制を整備する必要にせまられており、林木育種研究、採取園造成技術を開発することを目的とした、技術協力を我が国に要請した。</p> <p>(目的・内容)</p> <p>林木育種を推進することにより、国産優良種子生産体制を確立し、木材の生産性と品質の向上及び環境保全の推進に寄与するため次の基礎技術を開発する。</p> <p>1) 既存人工林を材料とした育種技術 ①採種木の選定②プラス木の選抜③モデル採種園の造成④増殖技術の開発</p> <p>2) 原産地からの技術導入による育種技術 産地試験地の造成</p> <p>(現状・目標達成)</p> <p>平成4年3月事前調査団、実施協議調査団を派遣し協力の開始につき合意が得られた。</p>											

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
農林業協力(農業)プロジェクト・ファインディング	(ドミニカ共和国、ウルグァイ) 中南米一般を参照のこと。	59	事前調査	59. 7. 7~ 59. 8. 20	(5)	(3,866)					(3,866)	
中南米地域農林業協力プロジェクト運営指導	(アルゼンティン、ウルグァイ)	63	巡回指導	63. 10. 25~ 63. 11. 9	(4)	2,566					2,566	
プロジェクト基盤整備 事業巡回指導		63	巡回指導			1,396					1,396	
海外農林業教育		元				865					865	

産業開発協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
紙、パルプ品質改善計画 Pulp and Paper Quality Improvement project 協定等の種類：R/D 署名年月日：56. 9. 8 協力期間： (当初) 56. 9. 8~ 59. 9. 7 (延長) 59. 9. 8~ 61. 3. 31	1) ウルグァイ政府は、近年の輸出不振の長期低迷に加え、石油危機後の国際収支の悪化等経済問題打開のため、貿易の自由化を含む開放経済体制を導入し、従来の保護主義的経済の変革と農政中心の経済を是正すべく工業振興に努力している。 2) その中で、数少ない既存工業の一つである紙パルプ産業を、輸出指向工業に育成しようという政策があり、他方、消費者から強い要望のある段ボール箱、教科書用紙等の本文用紙、家庭用紙および	55	事前調査	55. 11. 21~ 55. 12. 8	5	5,081			814		5,895	
		56	実施協議	56. 8. 21~ 56. 9. 14	5	5,660		1	2,564		⑤ 1,707	} 10,570
			〃				639					
		57	計画打合	57. 12. 1~ 57. 12. 14	3	3,458	1	1	28,382	紙質試験機 板紙試験機	⑤ 6,365 37,987	76,192
		58	同上報告書作成			⑤ 150	2	2	38,814	パルプ、紙料調整用機器、 コーティング試験用機器	⑤ 7,790 84,707	} 138,761
		〃	巡回指導	59. 3. 17~ 59. 3. 26	3	7,300				ミニチュア抄紙機		
59	同上報告書作成			⑤ 67	2	1	39,195	恒温恒湿実験室、 油吸収度試験機	⑤ 1,628 34,553	78,547		

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
相手国機関： 工業エネルギー省技 術研究所 国内協力機関： 通産省（日本製紙連 合会）	<p>オフセット用紙等の品質を改善し、メーカーと消費者との関係を向上することにより、紙パルプ産業の発展を図るため、昭和53年12月に工業エネルギー省技術研究所（LATV）内に紙パルプ研究所を設置する方針を固め、わが国に技術協力を要請してきた。</p> <p>この要請に対しわが国は、昭和55年11月に事前調査チームを派遣し、要請内容、要請背景等につき調査した。次いで上記調査結果を踏まえ昭和56年8月実施協議チームを派遣し、R/Dに署名した。</p> <p>協力の内容は「ウ」国の紙パルプ産業育成振興を目指し、既存工業エネルギー省技術研究所（LATU）に対し、紙パルプの品質に係る技術指導の機能付与を目的とし、</p> <p>1) 試験法の標準化 2) 依頼試験 3) 研究開発 4) 人材養成 5) 情報サービスを協力指導する。</p> <p>試験法の標準化、外部依頼試験の実施等はほぼ順調に進捗したが、機材供与が幾分後半にズレ込んだこと、及び「ウ」側</p>	59	エバリュエーション	59. 8. 4～ 59. 8. 11	3	3,104						
		60	巡回指導	61. 3. 9～ 61. 3. 16	3	2,499	2	7	48,066	環境試験室、天秤湿度計 スベアパーツ 他	⑤ 4,627 15,078	70,270
		61	実施計画費			389	2		5,007		254	5,659
		元	アフターケア	元 5.13～ 元 5.25	4	5,293		1	2,657	環境試験室、Elrepho 型カラーメーカー、冷凍機	23,798	31,748

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)									
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)								
							継続	新規												
	<p>の新築建設が約6ヵ月遅れたことから（当初完成は昭和59年10月予定）、協力期間内に目標達成することは困難であると判断されたため、協力期間を昭和61年3月まで延長し、引き続き協力を実施した。</p> <p>協力最終年度の昭和60年はプロジェクト全業務のウルグァイ側への移転を完了し、協力を終了した。</p> <p>〔カウンターパート受人実績〕</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>57</td> <td>58</td> <td>59</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table>	年度	57	58	59	60	人数	2	3	2	2									
年度	57	58	59	60																
人数	2	3	2	2																
プラスチック試験技術 協力事業 (Plastics Testing Project) R/D等署名日: 3.3.21 協力期間: (R/D) 3.3.21~ 7.3.20 (4年間) 所在地:モンテビデオ 先方関係機関:	(要請の背景) 1) 『ウ』政府は、近年の輸出不振の長期低迷に加え、石油危機後の国際収支の悪化等経済問題打開のため、貿易の自由化を含む開放経済体制を導入し、従来の保護主義的経済の変革と農政中心の経済を是正すべく工業振興に努力している。 2) その中に、数少ない既存工業の一つであるプラス産業を、輸出指向工業に育成しようという政策があり、その一環として紙パルプのプロジェクト方式技術協力を我が国に要請した。	元	事前調査	元. 12. 9~ 元. 12. 22	5	6,455					6,455									
		2	実施協議	3. 3. 11~ 3. 3. 25	6	7,568		4	4,951		606	13,125								
		3	計画打合	4. 4. 2~ 4. 4. 12	4	7,610		3	9,985	自動比重計, 恒温槽付粘度計, ギア式老化試験機, シャルピー衝撃試験機, 絶縁・抵抗, 誘電体損試験機	203,320	220,915								

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)	
							継続	新規				
工業エネルギー省ウルグァイ技術研究所 (Laboratorio Tecnológico del Uruguay (LATU), Ministerio de Industria y Energía) 我が方協力機関： 通商産業省、財団法人高分子素材センター	<p>3) これを受けて、当事業団は昭和56年9月から4年半の間、紙パルプの品質改善に関する技術協力を実施し、内外の高い評価を受け、設立された紙パルプ研究室は、現在も「ウ」側の手により順調に運営されている。</p> <p>4) 今回の要請は、前回の紙パルププロジェクトの成功を受けて、LATU内に今回はプラスチック研究室を設立し、前回同様、研究所として不可欠と思われる試験技術を移転し、「ウ」国のプラスチック製品の品質向上、そして、最終的には、輸出を促進することを目的として要請されたものである。</p> <p>(目的・内容)</p> <p>「ウ」国のプラスチック製品の品質向上に資するため、工業エネルギー省ウルグァイ技術研究所(LATU)内にプラスチックセクション(=研究室)を設立し、同試験室に対し、プラスチックの原材料および製品の試験検査にかかる技術移転を以下のスコープで行う。</p> <p>1) 依頼試験の実施 2) 地場産業に対する試験機器使用法</p>											

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)			
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人 数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)		
							継続	新規						
	にかかる巡回指導 3) 地場産業に対する情報サービス 4) 講習会等の開催 (現状・目標達成) 平成3年3月にR/Dを署名し、協力を開始した。 平成3年度は、3名の長期専門家を派遣した他、3名のC/Pを受け入れた。 また今年度、プロジェクトサイト内装工事が完了したのに伴い供与機材を搬入、機材据付短期専門家を派遣し主要機材の据付を完了した。 [カウンターパート受入実績]													
	<table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>3</td> </tr> </table>	年度	3	人数	3									
年度	3													
人数	3													

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	開発調査プロジェクト 選定確認調査	中南米一般を参照のこと。 (パラグアイ、ウルグアイ)	51	事前調査	51. 11. 18~51. 12. 3	(3)	(1,260)
2	造林・木材利用計画	既存の森林及び造林奨励地域について、自然的、社会的諸条件及び造林計画のM/P策定に関する調査を行うとともに、木材利用ガイドラインの策定を行うもの	60	事前調査	61. 1. 19~61. 2. 4	7	9,152
			61	実施調査	61. 7. 28~62. 2. 15	11	81,000

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
		で、昭和60年度は、事前調査を行い、S/Wを締結した。 昭和61年度は、林業に関連した資料収集のための現地調査を行い、それらの情報を国内で解析し、造林計画のM/Pを策定するとともに、木材利用のガイドラインを作成した。					
3	プロジェクト選定確認		62				2,208
4	カラスコ国際空港整備 計画	カラスコ国際空港の空港近代化計画のマスタープランの策定及び短期計画にかかるフィージビリティ調査を行うもので、昭和63年度は事前調査を実施し、実施細則を締結するとともに本格調査を開始した。 平成元年度は着手報告書の提出から最終報告書の提出までを行い、調査を終了した。	63	事前調査	63.11.4~63.11.18	6	54,008
			"	実施調査	元.4.3~元.7.10	12	
			元	実施調査	2.1.19~2.2.2	7	107,798
"	"	元.9.16~元.10.1	7				
5	国家造林5ヵ年計画	ウルグェイ森林法に基づき規定された造林奨励地域約200万haのうち、10万haを対象に国家造林5ヵ年計画の実施計画を策定し、フィージビリティ調査(F/S)を実施するとともに、同計画の円滑な実施に必要な造林技術手引書をあわせて作成するものである。 平成元年度は事前調査を実施し、S/Wに署名するとともに、本格調査を実施し、進捗報告書を作成した。 平成2年度は現地調査及び国内解析作業を実施し、最終報告書を作成・提出した。	63	事前調査	元.4.8~元.4.24	5	7,182
			元	実施調査	元.11.4~元.12.28	11	93,788
			2	"	2.7.20~3.3.1	10	91,792
			"	"	(資機材購送)		
6	モンテビデオ港新ター ミナル開発計画	モンテビデオ港を改良するため、穀物ターミナル、漁港ターミナル等の短期整備計画を策定し、フィージビリティ調査を行うものであり、平成2年度は、事前調査を実施し、実施細則(S/W)を締結した。 平成3年度は2年度に締結した実施細則(S/W)に基づき、本格調査を開始し、着手報告書を作成した。	2	事前調査	3.3.11~3.3.24	6	6,679
			3	事前調査	(役務提供契約)		72,911
			3	実施調査	4.2.11~4.4.25	9	

海外開発計画調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	紙パルプ産業開発計画 調査	ウルグァイ国の紙パルプ産業の現状を分析し、内外における紙パルプの需要、供給、貿易を想定し、同国の紙パルプ産業の確立と振興を図るため、紙パルプ産業開発の基本構想（マスタープラン）を策定する。昭和55年度は、現地調査、国内解析、報告書ドラフトの作成、現地説明と最終報告書の作成を行った。	55	海	55. 8. 1～55. 8. 23	9	} 44,388
				海（報告）	55. 12. 6～55. 12. 16	3	
2	紙・パルプ工場建設計画	ウルグァイ国の輸出の拡大と地域開発の促進を図るために、植林による原料（マツ、ユウカリ、ポプラ）を利用する紙パルプ工場を建設するにあたりF/Sを実施するものである。 昭和59年度は、事前調査においてS/Wに署名し、続いて本格調査を実施し、国内作業において、市場調査等の結果の分析を行った。 昭和60年度は、昭和59年12月に実施した現地調査結果をもとに、国内解析作業を行い、本件紙パルプ工場の建設については、技術的・財務的・経済的観点より可能であるとの結論を内容とした報告書を取りまとめ、昭和60年6月に同報告書についてウルグァイ側に現地説明を行い、同報告書を提出した。	59	海（事前）	59. 8. 27～59. 9. 10	5	9,953
				海	59. 11. 27～59. 12. 26	8	59,712
			60	海（報告）	60. 6. 25～60. 7. 6	4	28,365
3	鉱工業プロジェクト選 定確認	（ヴェネズエラ、ウルグァイ）	元	海	元. 11. 19～元. 12. 2	(6)	4,009
4	衣料産業振興計画	衣料のうち、毛織、ニット、デニムの3業種について、輸出を中心とした産業振興策を策定する。 平成2年度は予備調査を実施し、実施細則（S/W）を締結した。 平成3年度は、本格調査を実施した。	2	海	3. 2. 25～3. 3. 9	5	6,748
			3	海	3. 7. 1～3. 11. 9	21	89,743
5	鉱工業プロジェクト選 定確認調査		2	海			36

ウルグァイ

(援助効率促進事業)

ウル グ ア イ	No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
	1	消化器病センター評価 調査		63	案件別評価調 査	63. 11. 3~63. 11. 12	5	5,462
	2	紙パルプ品質改善事後 評価調査		63	案件別評価調 査	63. 11. 19~63. 12. 2	5	6,921
	3	第三者評価	プロ技・開調	2	横断的評価調 査	3. 3. 19~ 3. 3. 18	2	2,410
	4	果樹研究	農林水産協力事業	3	案件別評価調 査	3. 5. 11~ 3. 5. 27	5	7,363

(開発協力方式技術協力)

開発基礎調査

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	コロニーラ試験造林開 発協力	コロニーラ地域において、適正造林樹種の導入を図り、企業ベースでの開発可能性を明らかにするため、昭和59年度には、当該地域での自然、経済、立地条件の概況調査及び試験的造林計画の調査を行った。 また、昭和60年度には、コロニーラ地区における試験造林地の選定、樹種の選定及び造林事業費の積算、収支計画の作成等を行った。	59	基礎二次調査	59. 10. 15~59. 11. 3	4	10,585
			60	開発計画調査	60. 12. 1~60. 12. 22	4	11,170

投融資審査等調査

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	コロニーラ試験造林事業投融資審査等調査	ロチャ州コロニーラにおいて実施中の試験造林事業にかかる融資中調査。	63	投融資審査等 調査	63. 12. 11~63. 12. 22	2	2,247

〔開発投融资〕

融資承諾 年月	事業名	事業地	対象事業	貸付条件・承諾額・契約額					貸付実行額		備考
				金利 (%)	返済期間 (内据置年)	承諾額 (百万円)	契約年月	契約額 (百万円)	年度	実行額 (百万円)	
61年度	コロニーラ試験造林事業		造林・ユーカー等 700ha	0.75	20(5)	161.1			61		

ウルグアイ

ヴェネズエラ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

ヴェネズエラ 形態	年度 及び人数	27~60		61		62		63		元		2		3		累計	
		経費 (千円)	人数 (人)														
研修員		386,447	234	47,462	28	62,081	38	28,042	43	76,084	49	121,598	51	99,775	56	821,489	499
専門家		716,048	115	110,520	10	125,216	12	86,560	1	71,354	9	108,436	5	107,135	7	1,325,269	159
調査団		221,587	81	6,292	5	2,694	3	156,007	20	151,815	28	55,122	24	332,483	35	926,000	196
移住者		3,482	49													3,482	49
機材供与		250,503		18,325		24,603		80,241		5,352		19,301		5,586		403,911	
その他		31,589		3,789		3,126		1,980				17,626				58,110	
合計		1,609,656	479	186,388	43	217,720	53	352,830	64	304,605	86	322,083	80	544,979	98	3,538,261	903

(2) 形態別・分野別

形態	分野 人数 累計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー		商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 累計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研修員	499	15	57	4	49	55	72	8	5	9	25	16	65	14	30	5	10	4	55	1		821,489	
専門家	159	1	2	11	17	47	10				1	4	7	4			2		53			1,325,269	
調査団	196				14	63	8	13				8	22	32	6		5		25			926,000	
移住者	49														6						43	3,482	
機材供与																						403,911	
その他																						58,110	
合計	903	16	59	15	80	165	90	21	5	9	26	28	94	50	42	5	17	4	133	1	43	3,538,261	

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				飲工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)	
		開発 計画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	飲 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
34年度	1													1									
35 "																							
36 "	3	1					2																4,326
37 "	1				1																		
38 "	3				1		1	1															
39 "	2				2																		581
40 "																							
41 "	1				1																		771
42 "																							
43 "	3				3																		2,187
44 "	5				3		1							1									4,392
45 "	7				2		2	1								2							5,259
46 "	4				1		2								1								3,982
47 "	6	1			1		1					1				2							6,056
48 "	4		1		1		1								1								5,485
49 "	6				1		3								1		1						7,294
50 "	9						3			1			1	1	3								12,103
51 "	7		1		2		2						1		1								12,540
52 "	11	1			2	1	2	1				1			3								18,272
53 "	13				1		1					1	6	1	1					2			25,701
54 "	25	3	1		2	5	1	2				6	1	2		1			1				33,460
55 "	23	3	1		2	3	1				3	3	3	2		1			1				38,786

ヴェネズエラ

ウエヌエラ

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネル ギ !	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
56年度	15		1		2	1	2				1		4		1				3			28,359
57 "	20		1	1	3	3				1			4		2				5			35,624
58 "	24		2		2	2	2						8	1				1	6			47,498
59 "	22	1	1			3	2					2		7		1			5			53,796
60 "	18	1	1		1		3	1			1		4						6			37,613
61 "	28		3		3	2	6			2			1	3		1			6			46,564
62 "	37		6	1	1	6	8		1	1	2	2	5		2				2			60,150
63 "	43		5	1	1	8	6	1	1	1	4	4	2		2	1	1	1	4			26,232
元 "	48	2	7		2	9	8		1		3	1	4		1	1	3	1	5			73,204
2 "	51	2	12		5	5	5		1	2	3	4	3		2	1	1		4	1		121,500
3 "	54		12	1	3	7	7		1	1	4	3	3	2	2	1	2		5			94,301
合計	494	15	55	4	49	55	72	7	5	9	25	16	64	14	30	5	9	4	55	1		806,126

専門家派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネル ギ !	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
38年度	2						2															4,761
39 "																						
40 "																						

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)	
		開発 計画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
41年度																							
42 "	1				1																		
43 "																							
44 "	1				1																		
45 "																							
46 "	1				1																		2,967
47 "																							2,582
48 "																							5,916
49 "																							121
50 "	1				1																		8,904
51 "																							5,919
52 "	10		2			3					1		2					2					47,401
53 "	7				1	2	4																54,494
54 "	4						2								2								64,326
55 "	13			3		8							2										60,149
56 "	15					11							2	2									74,355
57 "	2					1							1										75,191
58 "	5					4	1																97,188
59 "	11				6	5																	87,573
60 "	6				4	2																	105,164
61 "	1												1										100,740
62 "	3			1	1	1																	123,191

ウエネズエラ

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
63年度	1											1										89,776
元 "	9					7						2										76,706
2 "	5				1	3	1															120,145
3 "	7			7																		112,721
合計	105		2	11	17	47	10				1	4	7	4				2				1,320,290

[一般の技術協力に係る機材供与]

単独機材供与事業

No.	機 材 名	機 材 供 与 先	年 度	機 材 供 与 経 費 (千円)
1	地震工学用機材	集団研修コース	59	4,732
2	災害対策用機材	環境天然資源省	63	39,400
3	鉱石分析用機材	エネルギー鉱山省鉱山地質局	63	32,281
4	地震計測用機材	国立地震研究所	2	5,789
計	4 件			82,202

ヴェネズエラ

[プロジェクト方式技術協力]

社会開発協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
港湾技術訓練センター	<p>ヴェネズエラ国の港湾施設は、建設後すでに20年～30年を経過しており、その後の拡張は殆どなされていない。このため近年の港湾貨物の急激な増加に対処することができず絶対的な施設不足と老朽・陳腐化のため慢性的な滞船・滞貨の状態となり同国経済に深刻な影響を与えている。</p> <p>こうした状態を打開するため第5次国家開発計画において主要港湾の整備を進めているが、さらに深刻な問題は港湾労働者の量的・質的不足であるとの認識から人材確保に重点をおき、訓練センターを設立、港湾機械オペレーターの養成ほか職業訓練との2本の柱により中堅技術</p>	53	事前調査	53.11.25～ 53.12.15	5	5,412			⑦ 655		6,067	
		54				⑧ 20		1	1,134			1,154

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
	・技能者の育成を図るため、わが国に技術協力を要請してきた。 この協力要請に対しわが国は、協力の可能性・妥当性を検討するため、昭和53年11月、事前調査を実施した。											
電気通信訓練センター		63	事前調査	元 4. 9～ 元 4. 21	4	3,877					3,877	
		元				389					389	
		2	事前調査	2. 8. 2～ 2. 8. 9	4	709					709	

保健医療協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)		
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)	
							継続	新規					
がん対策 Establishment of Gastro-Intestinal Tract Cancer Control System 協定等の種類：R/D 署名年月日：57. 2. 25 協力期間： (当初) 57. 4. 1～ 62. 3. 31 (フォローアップ)	ヴェネズエラ国では、近年大きな社会問題化している消化器がんについて、早期発見および治療法の確立を図りたいとして協力を要請してきた。 これに対しわが国は昭和56年10月事前調査団を派遣して協力の可能性につき調査した。昭和57年2月に前述の事前調査の結果を受けて、実施協議チームを派遣し討議議事録の署名をへて協力を開始することとなった。 本件プロジェクトの具体的協力内容	56	事前調査	56. 10. 1～ 56. 10. 11	5	⊕ 202 ⊖ 4,885					} 10,974		
		"	実施協議	57. 2. 21～ 57. 3. 2	5	5,356							
		"				⊖ 531							
				57	(同上 報告書作成)			⊕ 203 ⊖ 623	5	8,059	⊕ 1,060 ⊖ 62,879	72,824	
				58				⊖ 132	6	15,733	⊕ 5,758 ⊖ 58,551	80,174	
				59	計画打合	59. 7. 8～ 59. 7. 17	3	⊕ 251 ⊖ 3,020	1	11	21,129	39,986	69,158
				60	巡回指導	60. 8. 4～ 60. 8. 15	4	5,076	1	9	21,394	⊕ 4,415 ⊖ 14,782	45,667

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)															
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)														
							継続	新規																		
62.4.1～ 63.3.31	<p>は、胃がんを対象としてモバイルユニットを用いての集団検診システムによるがんの早期発見および治療体制を確立するとともに技術レベルの向上を図り同国全体における胃がんの診療体制を整備確立しようとするもので、国立サンクリストバル中央病院のスタッフに対し、放射線、内視鏡及び病理による診断技術並びに消化器腫・外科の治療技術につき協力を行う。</p> <p>1) 胃癌の一次スクリーニング（間接X線フィルムの読影技術、X線技師の養成）</p> <p>2) 胃癌の二次スクリーニング（内視鏡診断、X線技師の養成、集団検診情報システムの確立等）</p> <p>その後、集団検診が行われるようになり、消化器癌の早期発見も行われ、また集団検診情報システムについても順調に発展している。</p> <p>〔カウンターパート受人実績〕</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>57</td> <td>58</td> <td>59</td> <td>60</td> <td>61</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table>	年度	57	58	59	60	61	62	人数	3	3	4	3	2	1	61	エバリュエーション	61.9.2～ 61.9.25	5	6,292		11	18,235		9,870	34,397
年度		57	58	59	60	61	62																			
人数		3	3	4	3	2	1																			
		62				2		4	3,346			14,531	17,879													
	63				9							9														
相手国機関： 厚生省腫瘍局、 国立サンクリストバル中央病院 国内協力機関： 岐阜大学・順天堂大学、ガン研究会附属病院、鶴ヶ谷オープン病院		3	アフターケア	3.11.9～ 3.11.18	3	5,335							5,335													

保健医療協力事業（単発専門家）

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
胃がん集団検診		55					2	3,879		⑩ 1,207	5,086	
		56					2	914			914	

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
内視鏡	(パナマ, ヴェネズエラ) 中南米一般を参照のこと。	50					(1)	(468)		⑩ (34)	(502)	
病理学	(パナマ, ヴェネズエラ) 中南米一般を参照のこと。	50					(1)	(468)		⑩ (34)	(502)	
消化器がん診断		55					1	950			950	
免疫学		58					1	868		⑩ 413	1,281	
神経生理学		62					1	1,630			1,630	

農林水産協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
海外農林業教育		63	基礎調査	63. 8. 9~ 63. 8. 29	(4)	3,116					3,116	
		2	研究基礎調査			661					661	

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	中南米諸国開発調査プロジェクト選定確認調査	(コロンビア、ニカラグア、パナマ、ヴェネズエラ) 中南米一般を参照のこと。	50	事前調査	51. 2. 25～51. 3. 18	(2)	(813)
2	カラカス市交通網整備計画調査	首都カラカス市において交通調査を実施し、地下鉄とモノレールのうちいずれを敷設した方が有効か比較検討し、交通網整備計画を作成。	39	投	40. 3. 7～40. 4. 14	6	5,276
			40	投			1,471
3	港湾技術訓練センター建設計画調査	港湾の慢性的な滞船を打開するため、第5次国家開発計画に基づいて主要港湾の抜本的な整備を推進している。港湾労働者の量・質の不足も関係しオペレーター等の職業訓練を積極的に行うことにし、昭和53年度に事前調査を実施し、続いて昭和54年度に訓練用揚貨装置の最適規模を決定、それらの発注仕様書、設計書、工事の積算等を決定した。 昭和55年度は同報告書を作成した。	53	事前調査			
			54	実施調査	54. 10. 6～54. 10. 24	4	14,226
			"	実施調査	55. 2. 9～55. 2. 27	4	
			55	実施調査	(報告書作成)		18,227
4	バレンシア湖開発計画調査	同国政府の要請に基づき、バレンシア湖の水質汚濁防止計画および湖周辺都市の水資源開発計画を中心とするマスター・プラン策定に関し、要請内容、計画概要の確認、現地踏査、資料収集等を目的とする事前調査を行った。	56	事前調査	57. 1. 29～57. 2. 13	5	6,165
			57	事前調査	(報告書作成)		1,452
5	チャマ川流域防災計画	同国西部メリダ州に位置し、アンデス山脈山間部を縦貫し、マラカイボ湖南部に注ぐチャマ川の流域を対象とした土砂ずれ、洪水等による被害を防止するための流域防災計画に関するマスタープランを策定するとともに、緊急計画についてアクションプランを策定するもので、昭和63年度は事前調査団を派遣し、実施細則を締結するとともに、それに基づき本格調査を開始した。 平成元年度は昭和63年度に引き続き本格調査を実施し、最終報告書を提出した。	63	事前調査	63. 6. 18～63. 7. 7	5	140,328
			"	実施調査	63. 11. 22～元. 2. 2	15	
			元	"	元. 6. 15～元. 11. 30	20	137,252
6	アブレ川河川改修計画	アブレ川及びボルトゲッサ川の河道安定化を図り、両河川に挟まれた地域の洪水を防御するため河川改修計画を策定するものであり、平成3年度は事前調査を実施し、実施細則(S/W)を締結するとともに、本格調査に着手し、着手報告書まで作成した。	3	事前調査	3. 10. 7～3. 10. 25	7	199,144
			"	実施調査	4. 3. 15～4. 8. 25	13	

ヴェネズエラ

海外開発計画調査事業

ヴェネズエラ

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	鉱工業プロジェクト選 定確認調査	(エル・サルヴァドル, ホンデュラス, パナマ, ヴェネズエラ) 中南米一般を参照のこと。	50	海	51. 3. 6~51. 3. 26	(2)	(561)
2	鉱物資源開発計画調査	同国アンデス地帯における鉱物資源, 特に銅, 鉛, 亜鉛, 鋳床につきその賦存の 状況ならびに開発の可能性の調査。	42	海	42. 4. 24~42. 6. 8	6	8,889
3	中小企業振興計画調査	<p>ヴェネズエラ国は, 石油, 鉄鉱石のほか鉱物資源に恵まれ, 石油精製, 石油化学 および鉄鋼などの基幹産業を有し, 工業化はかなり進んでいるが, 反面基幹産業か ら産出される工業原料あるいは中間原料を利用する加工業, およびこれらの産業を 支える基礎産業が未成熟であるため, 工業化の一層の進展を図るうえで大きな問題 となっている。</p> <p>ヴェネズエラ国中小企業庁等との討議およびカラカス, マラカイ等各地区におけ る実査を通じて次のことが判明し, ヴェネズエラ側の動向を見守ることとなった。</p> <p>1. 要請①中小企業振興のための総合計画の策定に関する協力②中小企業の地方分 散化政策に関する協力③中小企業振興センター設立に関する協力。</p> <p>2. 要請①は, わが国予算の制約等を勘案すると効果的, 具体的な成果を期待する ことは難しい。②は, 日・ヴェネズエラ両国間に基本的な違いがあるので, わが 国の知識・経験が直ちに役立つとは限らないため協力分野としては考えない。③ は, 総合センター構想は, 計画づくりに多大の日時と労力を要し, 即効的ではな いので, 金属機械工業分野に絞って, わが国の協力を検討する。</p>	53	海(事前)	53. 7. 23~53. 8. 8	6	11,523
4	オリノコヘビーオイル 軽質化計画調査	<p>かねて, ヴェネズエラ政府から, わが国民間企業3グループが提案しているオリ ノコ重油の軽質化技術の評価を, わが国に要請してきた。わが国としては, とりあ えず各グループの技術的特徴を明らかにした技術比較を行ったうえで, その説明を 行うとともに, 同政府の意向, 背景を確認し, わが国としては, どんな技術協力が 可能であるかを探るため, 昭和53年度事前調査を実施した。さらに54年度に事前調 査結果をふまえ, 日本側3グループ提案の方法の特徴を明確化し, ヴェネズエラ側 が商業化に際し, 最適なプロセス選択に必要な資料(軽質化するためのプラント設 備に限定した技術的および経済的検討結果)の提供を行うための調査を実施した。</p>	53	海(事前)	53. 8. 26~53. 9. 5	3	2,381
			54	海	54. 9. 30~54. 10. 13	6	33,531
			55	海	55. 5. 3~55. 5. 23	8	68,799
			"	海(報告)	55. 10. 11~55. 10. 20	5	

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
		昭和55年度は前年度に引き続き第2次調査を実施し、国内設計作業と最終報告書の作成を行った。					
5	中南米地熱開発計画	中南米一般を参照のこと。 (ヴェネズエラ、メキシコ)	58	海(予備)	58. 7. 27~58. 8. 11	(6)	(4, 693)
6	鉱工業プロジェクト選 定確認調査		元	海			4, 009
7	タチラ州炭田開発計画	国内のコークス製造プラントあるいは国際市場への供給を目的として、タチラ州において原料炭を生産するためラス・アドフンタス鉱区開発のフィージビリティ調査及びほかの4鉱区の開発のプレフィージビリティ調査を実施する。 平成2年度は第1次現地調査として、地質、炭質のデータ等を集めた。 平成3年度は第2次現地調査として、ラス・アドフンタス鉱床の炭坑開発案の検討を行った。	2	海	2. 11. 10~ 2. 11. 24	7	} 48, 904
			"	"	3. 2. 13~ 3. 3. 26	9	
			3	"	3. 7. 27~ 3. 10. 15	12	
8	鉱工業プロジェクト選 定確認調査		2	海			36

資源開発協力基礎調査事業

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	プロジェクト選定調査		63	資	63. 10. 30~63. 11. 12	5	3, 888
2	エルドラド地域資源開 発調査	エルドラド地域において、金・銀の賦存状況を把握することを目的とする。 平成元年度は、地質調査・地化学探査(3, 000km ²)を計画した。同国の事情により調査団の派遣が困難となったため、先方と本件実施につき協議を重ねた。	元	資	元. 9. 30~元. 10. 7	1	585
			2	"			

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	果樹栽培開発協力	ヴェネズエラで輸入が禁止され開発が奨励されている果樹のうち、リンゴについて、暖地リンゴを導入し、栽培技術の確立を図り、リンゴ栽培の普及と生産を行う計画に関し、開発候補地におけるリンゴの栽培環境、投資環境について調査を実施した。	60	基礎2次調査	60. 11. 26~60. 12. 12	6	10,304

投融資審査等調査

No	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	ヴェネズエラ、メキシコ投融資審査等調査	(ヴェネズエラ、メキシコ) 中南米一般を参照のこと。	55	投融資審査等調査	56. 1. 17~56. 2. 4	(4)	(2,236)
2	南米投融資審査等調査	(ヴェネズエラ、チリ) 中南米一般を参照のこと。	60	投融資審査等調査	60. 7. 26~60. 8. 9	(5)	(3,225)
3	投融資審査等調査	ヴェネズエラにおけるリンゴ栽培試験事業にかかる融資中調査。	62	〃	62. 7. 29~62. 8. 7	3	2,692
4	ヴェネズエラリンゴ栽培試験事業及びコスタ・リカ胡麻栽培試験事業	ヴェネズエラ国ラベニータにおけるリンゴ栽培試験事業及びコスタ・リカ胡麻栽培試験事業に係る融資中調査。	2	投融資審査等調査	2. 12. 3~ 2. 12. 13	4	3,445

〔開発投融資〕

融資承諾年月	事業名	事業地	対象事業	貸付条件・承諾額・契約額				貸付実行額		備考
				金利(%)	返済期間(内据置年)	承諾額(百万円)	契約年月	契約額(百万円)	年度	
61年度	リンゴ栽培試験事業	ラベニータ	栽培りんご	0.75	20(5)	145.0			61	

[災害援助等協力事業]

国際緊急援助隊派遣

年度	災害区分	災害発生時期	災害の規模	派遣の目的	派遣期間	チームの構成	救援物資	所要経費 (千円)
62	洪水	昭和62年9月6日	死者91人 行方不明26人	① 被災状況調査 ② 被災国政府のニーズ及び諸外国の援助状況調査	10/6～10/17	総括1名(建設省)、 災害調査専門家 5名 (外務省1, 建設省2, 国土庁1, 科技厅1)、 調整員 1名 計 7名		6,674

ヴェネズエラ

蘭領アンティル

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

経費 形態	年度 27~60		61		62		63		元		2		3		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)														
研 修 員	3,004	1													3,004	1
専 門 家	2,091	1													2,091	1
調 査 団																
協 力 隊																
機 材 供 与	1,329														1,329	
そ の 他																
合 計	6,424	2													6,424	2

(2) 形態別・分野別

分 野 形 態	人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員	1													1									3,004
専 門 家	1													1									2,091
調 査 団																							
協 力 隊																							
機 材 供 与																							1,329
そ の 他																							
合 計	2												1	1									6,424

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
52年度	1													1								3,004
合計	1													1								3,004

蘭領アンテイル

専門家派遣事業

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
48年度	1													1								3,420
合計	1													1								3,420

中南米一般
〔プロジェクト方式技術協力〕
社会開発協力事業

区分不能(中南米)

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
ブラジル、メキシコ巡回指導	ブラジル電気通信技術訓練センターおよびブラジル繊維工業技術訓練センターに対する巡回指導。	47	巡回指導		2	1,216					1,216	
アルゼンティン、ペルー一鉄道分野、地震分野調査	アルゼンティンの国鉄研修センターおよびペルーの地震防災対策センターにかかる要請に関し、コンタクト調査を行った。(アルゼンティン、ペルーの社会開発協力事業を参照のこと。)	58	事前調査	59. 2. 15～ 59. 2. 28	2	2,609					2,609	

保健医療協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
ブラジル、パラグアイ医療協力基礎調査	ブラジル国政府からのポルトアレグレカソリック大学附属成人病研究所およびパラ州立大学地域公衆衛生センターに対する協力要請に応え、ニーズの実態調査を行う。なお、パラグアイ国のライ対策について津田・吉本両団員により計画打合せ調査を実施した。	47	基礎調査	48. 1. 12～ 48. 2. 21	4	4,958					4,958	
アルゼンティン、ブラジル、チリ、コロンビア、ペルー(大学教授)	早期がん診断専門家4名、ペルーがん研究所他に派遣。 派遣期間：48. 3. 2～48. 3. 26	47						⊕ 4	4,552		4,552	
アルゼンティン、チリ寄生虫対策	内視鏡専門家1名をアルゼンティンおよびチリ両国に派遣し指導を行った。	47			1	749				⊕ 251	1,000	

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団			専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
メキシコ、パラグアイ、 ウルグアイ早期がん診 断協力巡回チーム	早期がん診断協力巡回チーム 内視鏡、病理学、放射線診断学の専門 家各1名(計3名)派遣。 派遣期間: 48. 11. 24~48. 12. 18	48					3	3,748			3,748	
コロンビア、ドミニカ (大学教授)	胃がん治療専門家2名派遣。 派遣期間: 51. 3. 7~51. 3. 20	50					⊕ 2	1,687			1,687	
パナマ、ヴェネズエラ (大学教授)	内視鏡および病理学の専門家各1名 (計2名)派遣。 派遣期間: 50. 11. 17~50. 12. 1	50					⊕ 2	1,871	⊕ 135		2,006	
アルゼンティン、ボリ ヴィア医療協力事前調 査	ボリヴィア国政府より、日本国政府に 対し、がん対策および公衆衛生事業に対 する協力要請、またアルゼンティン国政 府より人間ドックおよびがん対策に必要 な機材の協力要請が提出されているが、 本事前調査においては上記案件を含め、 両国の医療事情全般について基礎的な調 査を実施した。	50	事前調査	51. 3. 26~ 51. 4. 22	4	5,264					5,264	
チリ、エクアドル医療 協力事前調査	エクアドル国政府に対し、グワヤキル 市の熱帯病研究所に対する研究協力要請 またチリ国政府よりチリ大学医学部が 中心となり、胃がん集団検診が可能にな る医療協力の要請が提出されているが、 本事前調査においては上記案件を含め両 国の医療事情全般について基礎的な調査	50	事前調査	51. 3. 28~ 51. 4. 21	5	6,191					6,191	

区分不能(中南米)

区分不能(中南米)

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
	を実施した。											
コロンビア、エクアドル (大学教授)	消化器内科(第1回国際レベル放射線学会出席) 派遣期間: 52. 2. 4~52. 2. 24	51		51. 3. 28~ 51. 4. 21				⊕ 2	2,510		2,510	
		52							273		273	
アルゼンティン、ブラジル 内視鏡指導(単発)	内視鏡についての技術指導	52						1	1,152		1,152	
ペルー、チリ (大学教授)	消化器病学および消化器内視鏡 派遣期間: 52. 6. 9~52. 6. 28 受入機関: ペルー、サンマルコス大学 医学部 チリ、チリ大学医学部	52						⊕ 2	2,319	177	2,496	
ボリヴィア、ブラジル 巡回指導調査	ボリヴィア消化器疾患研究対策プロジェクトおよびブラジル・リオ・グランデ・ド・スールカトリック大学成人病研究所プロジェクトを巡回し、専門家およびカウンターパート等に対し技術面における指導助言ならびにプロジェクトの運営につき協議、打合せを実施した。	53	巡回指導	53. 8. 4~ 53. 8. 26	3	4,093					4,093	
ボリヴィア、パナマ、 コスタ・リカ (大学教授)	消化器内科(パンアメリカ胃腸病学会出席) 派遣期間: 53. 3. 25~55. 4. 11	54						⊕ 1	1,587		1,587	
		55						⊕ 1				

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継 続	新 規				
アルゼンティン、ブラ ジル、チリ、コロンビ ア、ペルー 早期がん診断 (大学教授)		47					4	4,552			4,552	
コロンビア、ドミニカ 共和国 胃がん治療 (大学教授)		50					2	1,687			1,687	
パナマ、ヴェネズエラ 内視鏡 (大学教授)		50					1	936		⑧ 68	1,004	
パナマ、ヴェネズエラ 病理学 (大学教授)		50					1	936		⑧ 68	1,004	
コロンビア、エクアド ル 消化器内科 (大学教授)		51					2	2,510			2,510	
		52						273			273	
チリ、ペルー 消化器病学 (大学教授)		52					1	1,160		⑧ 89	1,249	
チリ、ペルー 消化器内視鏡 (大学教授)		52					1	1,160		⑧ 89	1,249	

区分不能(中南米)

区分不能(中南米)

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
ボリビア, コスタ・ リカ, パナマ 消化器内科 (大学教授)		54					1	1,587			1,587	
		55					1	314			314	
ブラジル, ウルグアイ マイクロ・サージェリー (大学教授)		55					2	2,823		⑧ 2,269	5,092	
チリ, ペルー 外科学 (大学教授)		56					1	1,095		⑧ 1,226	2,321	

農林水産協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
ボリビア, パラグァ イ, ペルー, 米国, 先 進国農業協力開発実態 調査	開発途上国からの農業開発への協力要 請の増大化と多様化に対応して, わが国 が農業協力を強化拡大してゆくために は, わが国以外の先進国が開発途上国で 実施している農業協力の実態を調査して おくことは, 極めて有益なことである。 この調査の目的はわが国農業協力の効率 的推進に資するため, 先進国(米国)が 現在実施している農業協力プロジェクト の協力の実態と問題点を, 現地(ペルー,	50	事前調査	51. 3. 25~ 51. 4. 21	5	6,619					6,619	

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
	ボリビア、パラグアイ)において調査するとともに、これらプロジェクトの実施にあたっての計画、運営の実情を先進国(米国)において調査することである。											
アルゼンティン、コスタ・リカ、グアテマラ、ウルグアイ中南米地域農業協力プロジェクトファイディング調査	アルゼンティン、コスタ・リカ、グアテマラ、ウルグアイの4カ国を選定し、農業協力の対象プロジェクトを発掘する。これら調査当該国は、すでに、わが国に対し意欲的な協力要請の内容を示して来ており、本調査は協力要請内容を確認すると共に現地の踏査を実施する。又、当該国の農牧業開発計画等の聴取も行い、今後、わが国の農業協力を資する。	50	事前調査	51. 2. 14~ 51. 3. 14	5	7,013					7,013	
		51	(同上報告書)			⑧ 386					386	
ドミニカ共和国、ホンデュラス中米農業協力プロジェクトファイディング調査	中南米諸国のうちドミニカ共和国とホンデュラス国についてプロジェクト・ファイディング調査団5名を派遣した。その結果、ドミニカ共和国については、既に中華民国政府から長年にわたって稲作の技術協力をうけており、わが国の農業協力の必要性の低いものと判断された。一方、ホンデュラス国については水稲と畑作のかんがい農業がようやく国家的事業として緒についた段階であり、同	55	事前調査	55. 8. 30~ 55. 9. 20	5	5,892					5,892	

区分不能(中南米)

区分不能（中南米）

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人 数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
	国政府が要請したかんがい農業技術訓練センターの設置運営に対する協力は同国の農業振興上、極めて重要であると結論された。											
ブラジル、チリ、パラグアイ中南米地域モデルインフラ指導	ブラジル林業研究、チリ水産養殖、パラグアイ農林業協力の3プロジェクトに係るモデルインフラ整備事業に対する巡回指導。	55	巡回指導	55. 10. 23～ 55. 11. 11	3	3,706					3,706	
ボリヴィア、パラグアイ農林業協力プロジェクトファインディング	パラグアイおよびボリヴィアについて、標記調査のため、昭和56年10月（ボリヴィア）、11月（パラグアイ）に調査団を派遣した。その結果、パラグアイにおいては、アスンシオン国立大学を拠点とする人工授精を通じて牛の改良と生産性向上を図る技術協力が重要であると結論された。ボリヴィアについては、サンタクルース州の灌漑農業開発のための灌漑パイロットファーム設置構想は、緊急度は高いが、内容の詰めが更に必要であると判断された。	56	事前調査	56. 10. 20～ 56. 11. 4	4	4,869					4,869	
ブラジル、パラグアイ農林業プロジェクト運営指導	農林業協力プロジェクトを国別、地域別に横断巡回することにより運営面の問題点を比較分析し、指導する事により今後の効率的推進に資するものである。	56	巡回指導	57. 2. 23～ 57. 3. 16	8	9,154					9,154	

区分不能(中南米)

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
	昭和56年度はブラジルにおいて協力中の農業研究プロジェクト他2件のプロジェクト及びパラグアイ農林業協力プロジェクトに対し実施した。											
コロンビア、ペルー、 中南米農林水産業協力 プロジェクト・ファイ ンディング	コロンビア国においては「農学および獣医学高等教育システム確立計画」、 「農業機器および農牧業プロセス調査計画」の2要請案件を、ペルー国においては「プカルバ地域農業開発計画」を中心にして、まだ要請はないが、プロジェクト技術協力の可能性ある案件等について、相手国政府と協議検討を行うとともに、現地踏査を実施しプロジェクト方式技術協力案件の発掘と選定を行った。	57	事前調査	57. 12. 7～ 57. 12. 23	5	5,928					5,928	
		58	(同上報告書作成)			164					164	
ブラジル、メキシコ中 南米農林業協力プロジ ェクト運営指導	ブラジル国における農林業プロジェクトおよびメキシコ国の家畜衛生センタープロジェクトに関し、プロジェクトの進捗状況を把握するとともに問題点等について先方機関との協議を行った。	57	巡回指導	58. 2. 25～ 58. 3. 11	8	8,802					8,802	
ドミニカ共和国、ウル グアイ中南米農林業協 力(農業) プロジェクト・ファイ ンディング	ウルグアイ政府は、果樹の生理・生態上の問題の研究により生産の拡大・品質の向上を図ることを目的とした落葉果樹及びぶどう栽培研究計画について、特に温帯果樹栽培技術において豊富な経験	59	事前調査	59. 7. 7～ 59. 8. 20	5	7,731					7,731	

区分不能
(中南米)

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
	を有するわが国に協力を要請してきた。また、ドミニカ共和国政府は、同国において重要なシバオリエンタル地域の畑作振興を目的とした農業開発計画について協力を要請してきた。本件調査団は、上記2案件を中心として他にプロジェクト方式技術協力の可能性がある案件も含めて、相手国政府と協議・検討を行い、技術協力案件の発掘と選定を行った。											
エクアドル、パナマ、 コスタ・リカ中南米農 林業協力（水産） プロジェクト・ファイ ンディング	中南米地域の沿岸には、開発可能な漁業資源及び養殖適地があると推定される。しかし、開発に必要な技術を有していないため、有効な開発が行われていない。一方、これら諸国は、特に200海里体制後、水産開発に対する積極的な意向を示している。このうち、過去のわが国への協力要請、地理的・社会的・経済的条件からみて、コスタ・リカ、パナマ及びエクアドルの三国はプロジェクト方式の技術協力を実施し得る可能性が高い。そこで、各国における技術協力要望内容を把握し、優良案件の可能性を調査するため、プロジェクト・ファイナンス調査団を派遣した。	59	事前調査	59.10.20～ 59.11.9	3	2,013					2,013	

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
コロンビア、パラグアイ 開発途上国における土 壌保全	<p>農林業開発事業を行うに際しては、環境保全すなわち生態系の保護及び土壌保全への考慮が極めて重要であることは言を待たない。しかしながら開発途上国においては焼畑農業、単作・連作による不適切な土地利用、あるいは化学肥料の過度な使用等による農地の生産力の低下荒廃化が指摘されている。</p> <p>この様な状況を踏まえ、昭和59年度においては、中南米諸国の中からコロンビア、パラグアイを対象国として現地調査を実施し伝統的傾斜地農業（コロンビア）・平坦地大規模機械化農業（パラグアイ）にかかわる土壌侵蝕・土壌保全状況の情報収集を行うとともにコロンビアの国際機関（国際熱帯農業研究センター）・大学における試験研究の実態並びにその社会還元状況に関する情報も収集した。</p>	59	開発基礎調査	59.10.26～ 59.11.9	5	18,259					18,259	
ホンデュラス、パラグ アイ中南米農林業協力 プロジェクト運営指導	<p>ホンデュラスの農業開発研修センター計画およびパラグアイの家畜繁殖改善計画に関し、プロジェクトの進捗状況を把握するとともに、問題点について先方機関と協議を行った。</p>	59	巡回指導	59.11.12～ 59.11.29	3	7,354						7,354

区分不能（中南米）

区分不能(中南米)

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
ボリヴィア、アルゼン ティン中南米農林業協 力(畜産) プロジェクト・ファイ ンディング	ボリヴィア政府から要請のあがっている家畜品種改良の遅れを改善し内畜産物の自給率向上を目的とする家畜人工授精センター計画、及びアルゼンティン国政府から要請のあがっている馬の伝染性貧血症・牛のウィルス性白血病の診断・予防技術の確立を目的とする家畜ウィルス研究計画の両協力要請案件につき、相手国政府と協議し、要請内容の確認、優先度並びに協力の可能性等を把握するため、現地調査を行った。	59	事前調査	60. 2. 2~ 60. 2. 17	4	6,084					6,084	
中南米農村総合開発		3	基礎調査	4. 2. 19~ 4. 3. 6	6	7,111					7,111	

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

No	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	メキシコ、コスタ・リ カ港湾計画調査	(コスタ・リカ、メキシコ)	46	事前調査	47. 1. 25~47. 2. 21	4	3,993
2	アンデス・グループ多 国籍海運基礎調査	(チリ、コロンビア、エクアドル、ペルー) アンデス地域多国籍貨物船団建設計画策定のための調査。海上輸送のうち、ばら積貨物に関する基礎調査、及び海上政策の基礎となるグループ各間の経済開発計画等についての調査。	47	実施調査	47. 11. 21~47. 12. 22	3	9,693
			48	実施調査			

No.	プロジェクト名	概 要	年度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
3	開発調査プロジェクト 選定確認調査	① (グアテマラ, ペルー) ② (コロンビア, ニカラグア, パナマ, ヴェネズエラ) ③ (パラグアイ, ウルグアイ)	47	事前調査	47. 12. 1~47. 12. 16	6	4,528
			50	事前調査	51. 2. 25~51. 3. 18	2	3,251
			51	事前調査	51. 11. 18~51. 11. 23	3	2,520
4	経済技術協力調査	わが国の経済技術協力の仕組みを説明するとともに、今後の協力案件の発掘を行った。 (ペルー, エクアドル, コロンビア, ホンデュラス, コスタ・リカ)	57	事前調査	57. 11. 6~57. 11. 26	5	3,279
5	援助評価調査	ボリヴィアにおける保健医療分野について、消化器疾患研究と早期診断の向上をめざす研究センターの設立に協力したが、今後の援助政策に反映するために協力対象を特定分野に集中して援助した本ケースに対する初めての評価調査を実施した。 また、パラグアイでは厚生省中央研究所に関する評価を専門家派遣、研修員受入れ、および供与済機材に対して実施した。 (ボリヴィア, パラグアイ)	57	援助評価	58. 4. 8~58. 4. 24	6	8,154
6	経済技術協力調査	ハイティ, ホンデュラス, ペルー, ボリヴィアの4カ国に対するわが国の経済技術協力を効率的に実施するため、当該国のニーズに合致した優良案件の発掘に努め、今後の協力のあり方を探ることを目的とするプロファイ調査団を派遣した。 (ハイティ, ホンデュラス, ペルー, ボリヴィア)	58	事前調査	59. 2. 19~59. 3. 5	5	4,758
7	(コンタクト) 農業開発	ホンデュラス: アグアン川流域農業開発 ジャマイカ: ブラックリバーローアモラス農業開発	58	事前調査	58. 7. 30~58. 8. 14	5	5,524
8	(コンタクト) 農業開発	ペルー: チャンカイ・ワラル谷灌漑復旧計画 チリ: マポーチョ川流域農業開発計画	58	事前調査	58. 11. 29~58. 12. 19	5	8,235
9	総合評価調査	ペルーおよびパラグアイ両国における経済技術協力案件のうち協力期間が終了または終了間近のプロジェクト5件に関し、事業計画の達成度、経済的・社会的効果、計画の妥当性およびフォローアップの必要性等について評価調査を実施した。 1. ペルー ・鉱山保安技術育成 ・水産加工センター	58	評価調査	59. 3. 2~59. 3. 24	4	19,337

区分不能
(中南米)